

令和7年度版

連携型中高一貫教育に係るアンケート調査

結果と考察



神石高原町教育委員会

目 次

調査対象者別

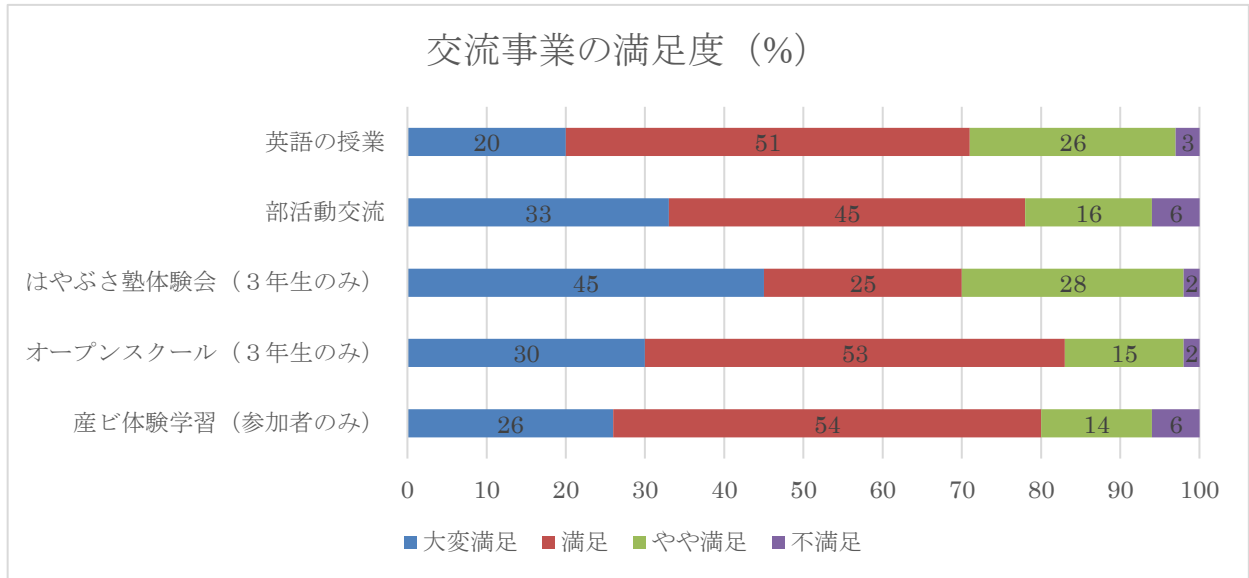
	ページ
1. 中学生 編	2 ～ 6
2. 高校生 編	7 ～ 13
3. 中・高教職員 編	14 ～ 15
4. 小・中保護者 編	16 ～ 19
5. 地域 編	20
6. 資料（アンケート結果の推移、入学率等の推移）	21 ～ 23

回 答 者 数

1. 中 学 生	回答者数 140 人 / 対象者数	154 人
2. 高 校 生	回答者数 130 人 / 対象者数	161 人
3. 中・高教職員	回答者数 41 人 / 全教職員数	63 人
4. 小学校保護者	回答者数 78 人 / 対象児童数	138 人
5. 中学校保護者	回答者数 56 人 / 生徒総数	154 人
6. 地 域	回答者数 98 人 / 質問者数	101 人

1. 中学生 編

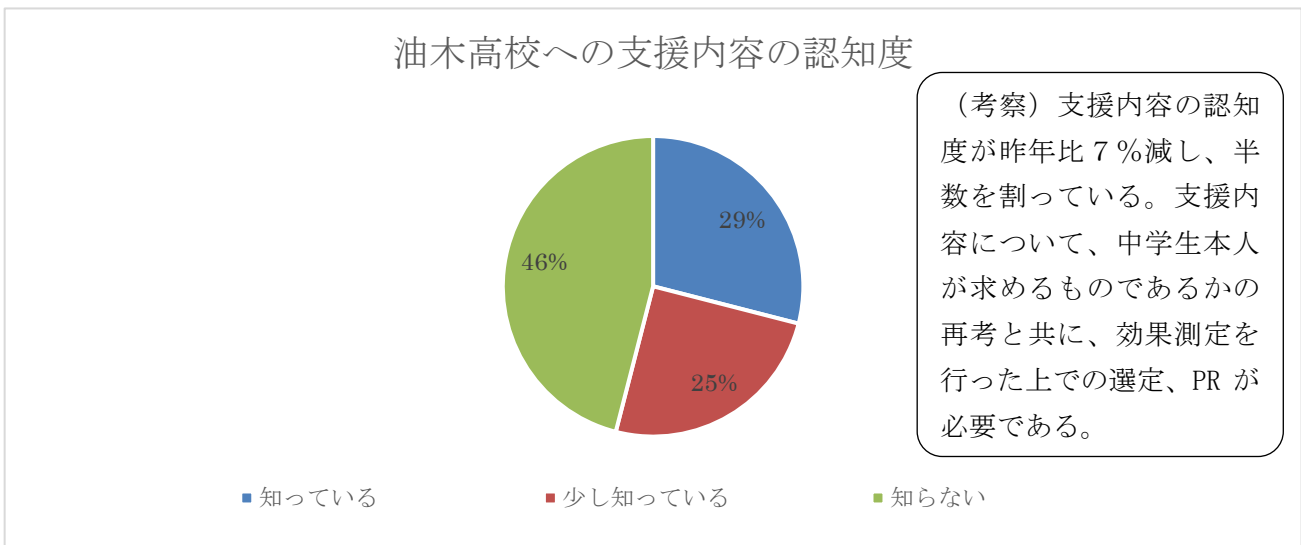
1 本年度、油木高校の先生や生徒さんから指導してもらったり、行事に参加したりしたことがある人は、該当する項目について、その感想を教えてください。



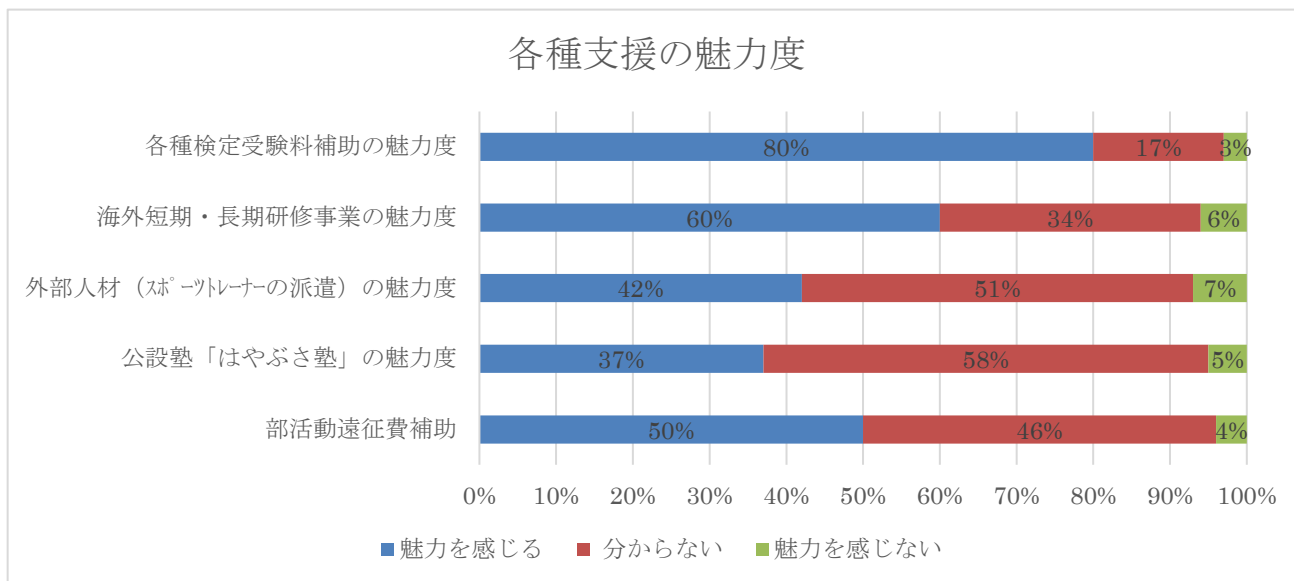
(考察) 全ての項目において、肯定的評価「大満足・やや満足」が大変高い評価である。ただし、オープンスクール以外の項目については、不満足の回答が前年よりも倍増している。交流授業は連携型中高一貫教育校では欠かせない実践項目であり、生徒の進学意識づけにつながる連携が求められる。

2 神石高原町では「油木高校の魅力づくり」として、色々な支援(部活動遠征費補助・学習支援塾「はやぶさ塾」&「神ゼミ」の開設・外部人材(スポーツトレーナー)の活用・海外<短期・長期>研修事業への支援・各種検定受検料の補助)などを実施していますが、そのことについて次の質問に教えてください。

(1) 油木高校への色々な支援内容について知っていますか。

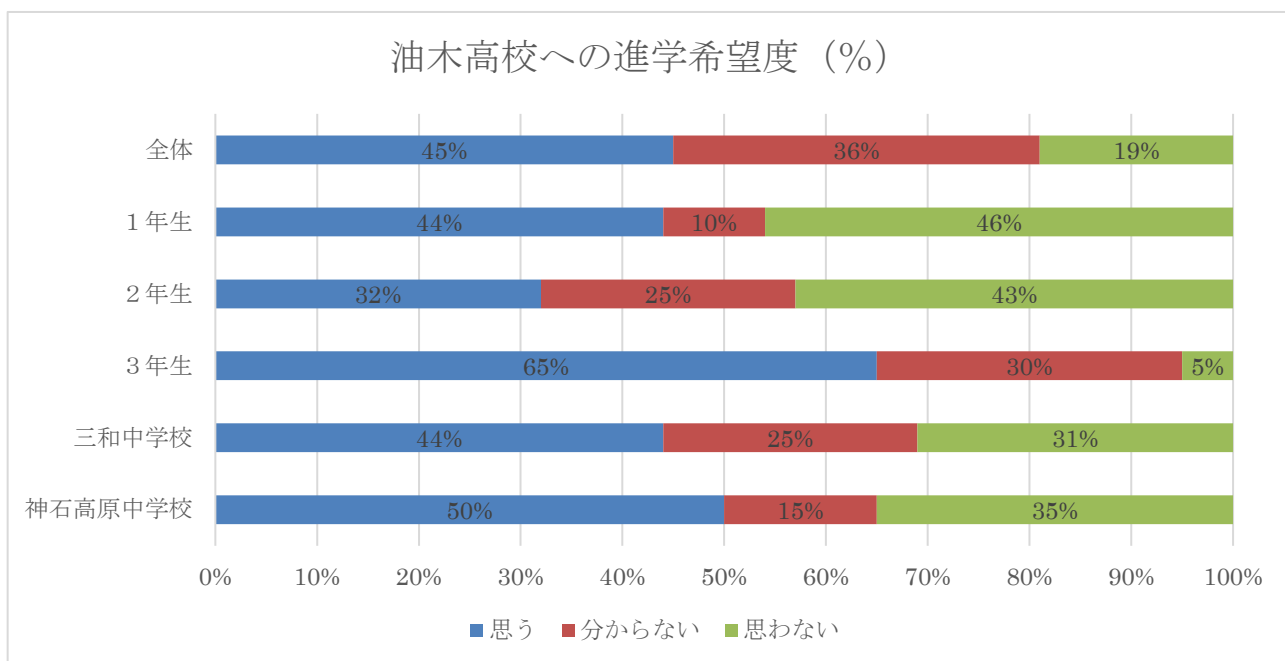


(2) 次のような支援についてどう思いますか。(2中学校計)



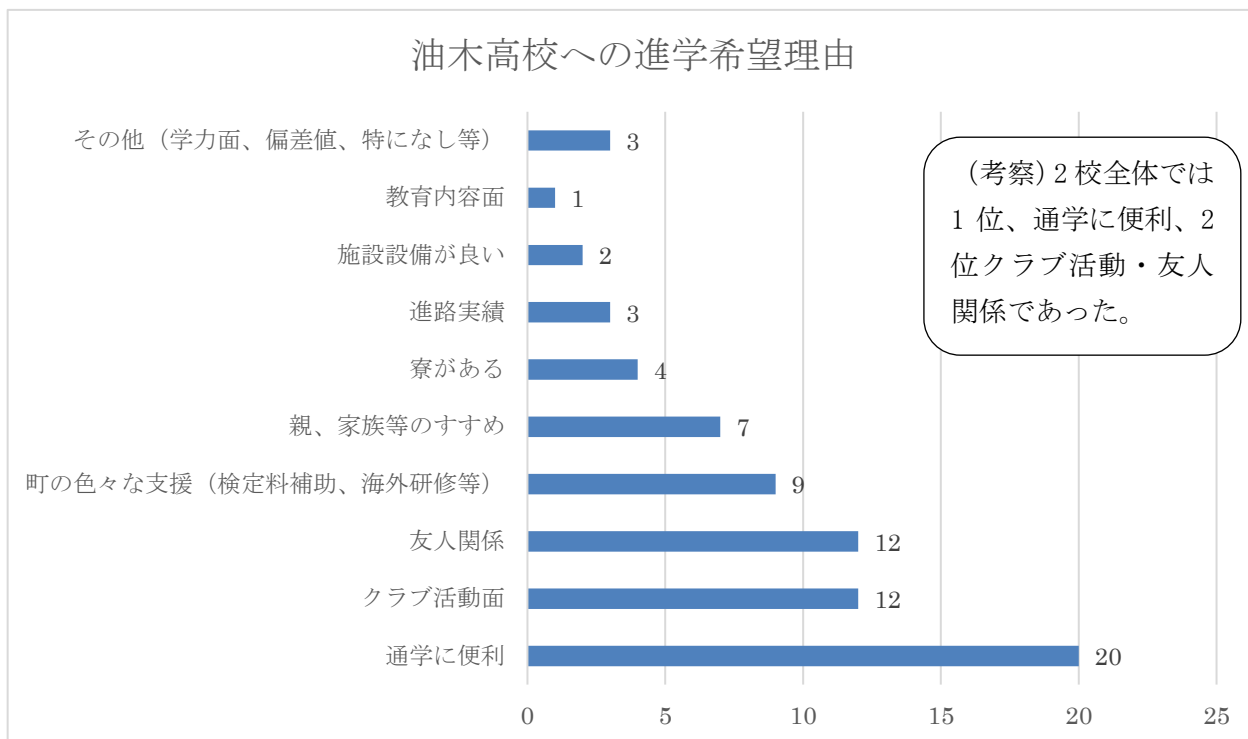
(考察) 魅力度が半数以上は海外研修への補助、各種検定料補助。特に検定料補助は全額補助2年目となり、前年比18%増。受験者は増えたが、合格率など詳細の検証が必要。

3 (1) あなたは油木高校に進学したいと思いますか。

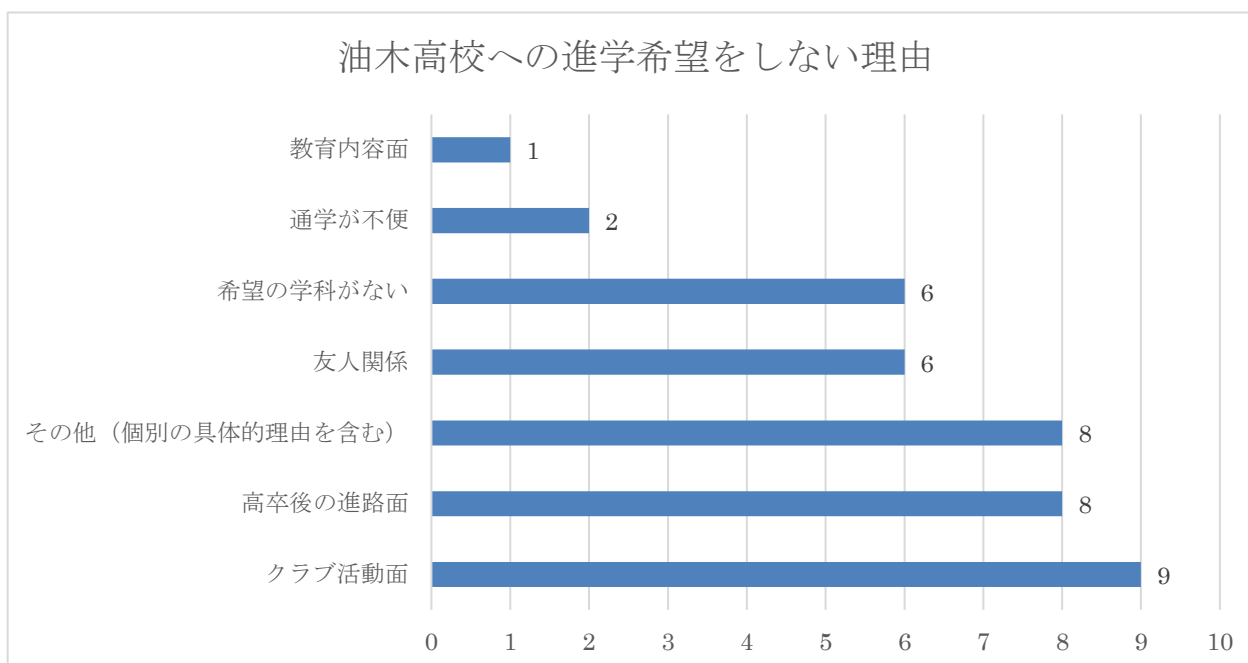


(考察) 2校全体で油木高校へ進学したいと「思う」は46% (前年41%、前々年50%)と例年同様。生徒数が減少していく中で、今後も連携校からの地元率50%以上を確保する必要がある。学年別でも、3年生の「思う」が65% (R6年55%、R5年76%、R4年62%、R3年66%、R2年61%)と、今後も60%維持を目指していく。

(2) 3(1)の質問で「油木高校へ進学したいと思う」と答えた人で、その理由とはなんですか。

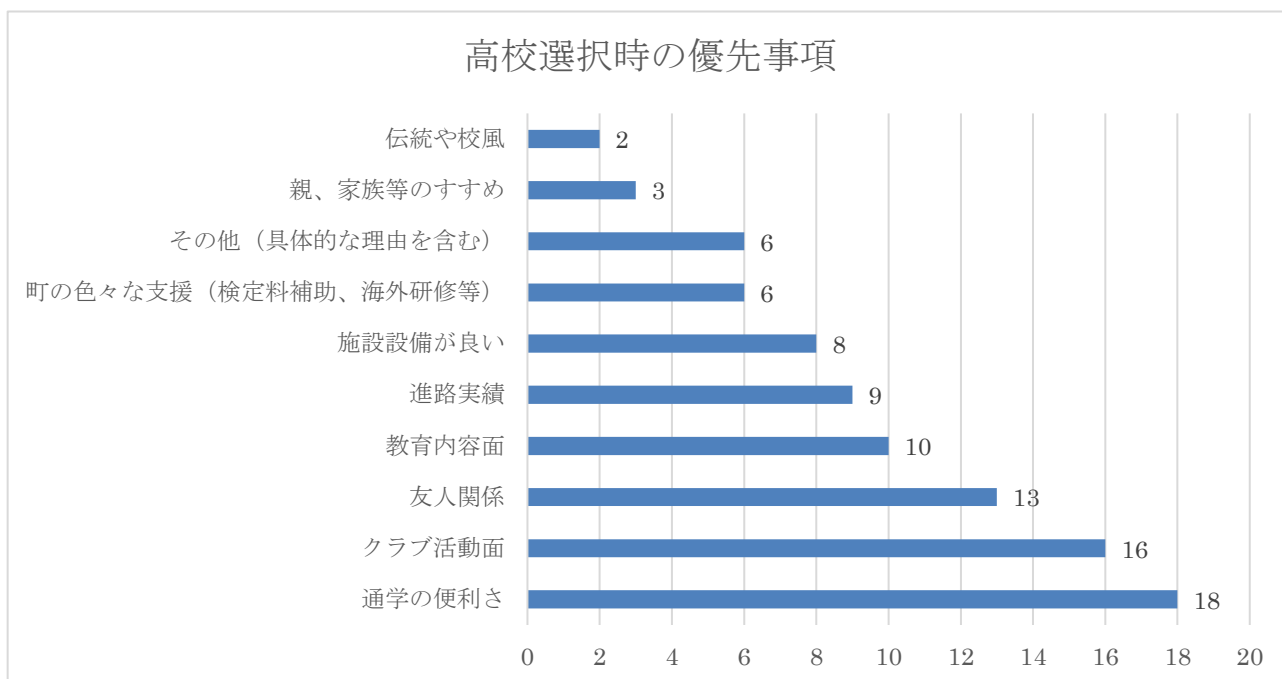


(3) 3(1)の質問で「油木高校へ進学したいと思わない」と答えた人で、その理由はなんですか。



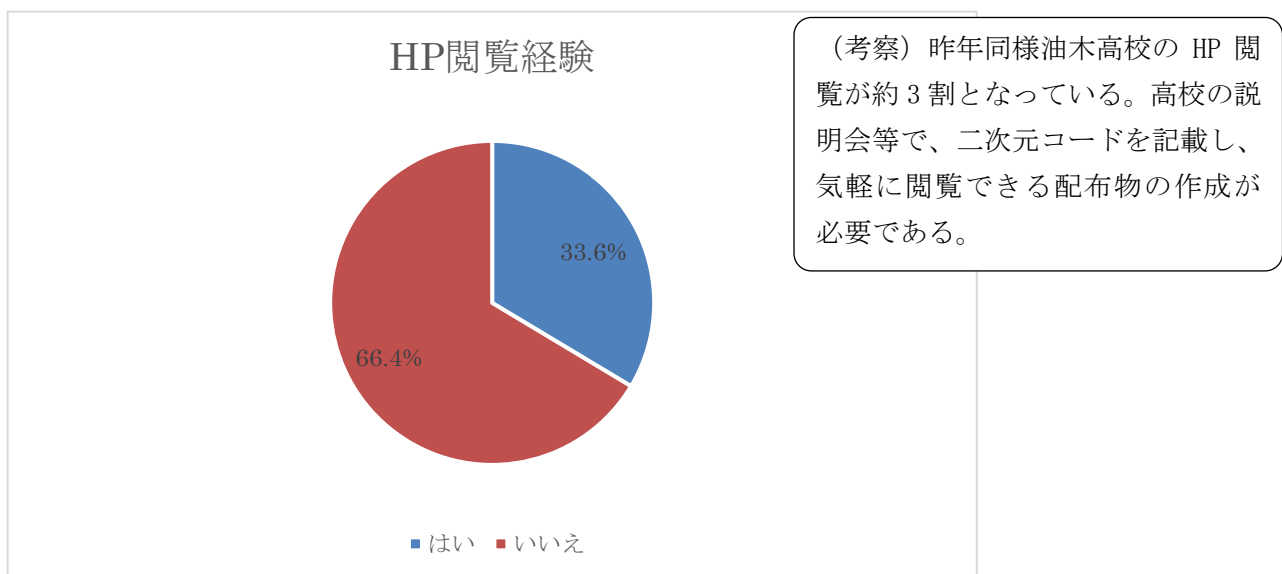
(考察) 2校全体で1位は「クラブ活動面」2位「卒業後の進路面」「その他」となっており、前年と比べ、教育内容面は評価される傾向にある。そのため、油木高校の教育内容の充実度と進路実績を絡めたPRをする必要がある。

(4) 3(1)の質問で「わからない」と答えた人で、今後、自分が進路選択する（高校を選ぶ）上で、重要視したいことを2つ選んでください。

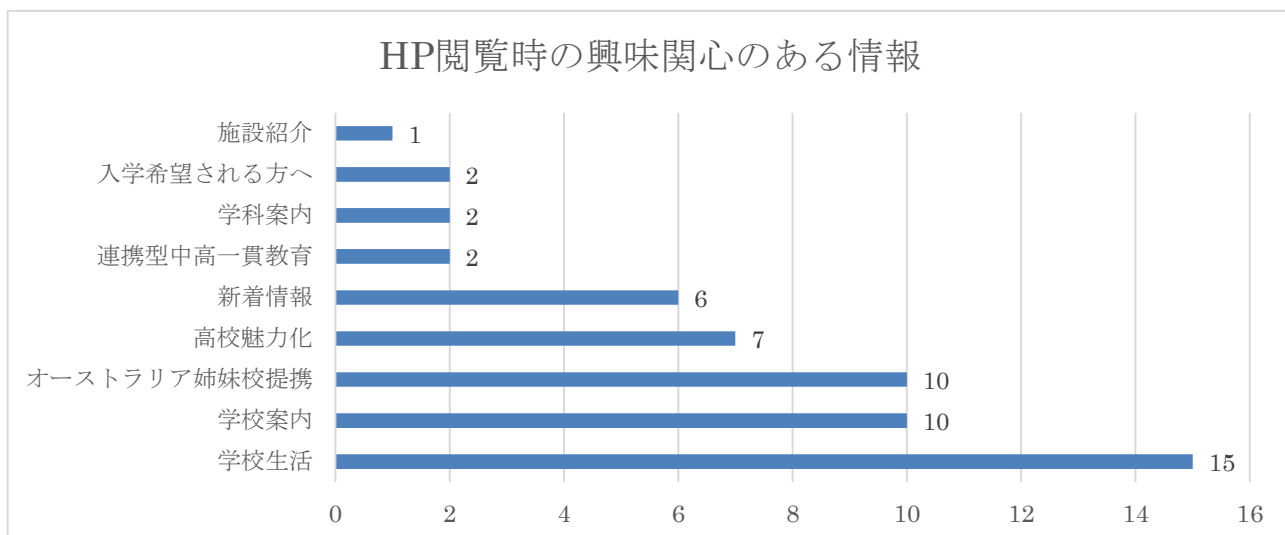


（考察）1位「通学の便利さ」2位「クラブ活動面」3位「友人関係」となった。例年クラブ活動が上位に入るため、クラブ活動の様子についてもPRしていく必要がある。

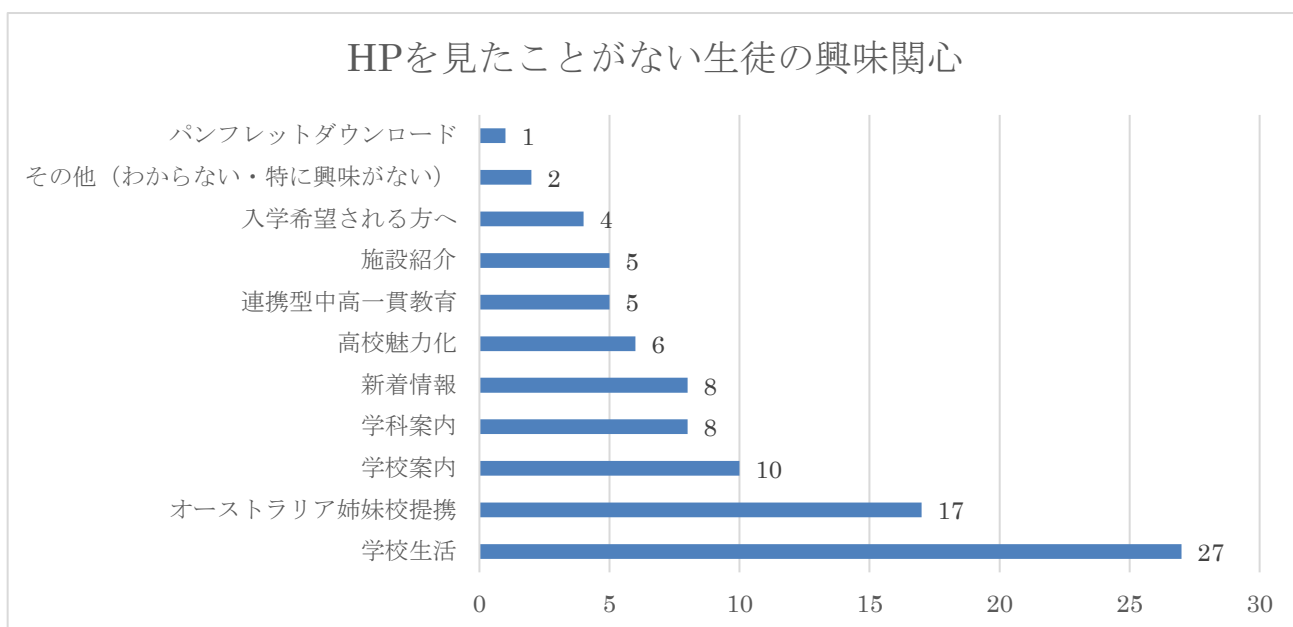
4 (1) 油木高校のホームページを見たことがありますか。



(2) 上記5(1)の質問で「はい」と答えた人は、どのコーナーに興味・関心を持って見ましたか。



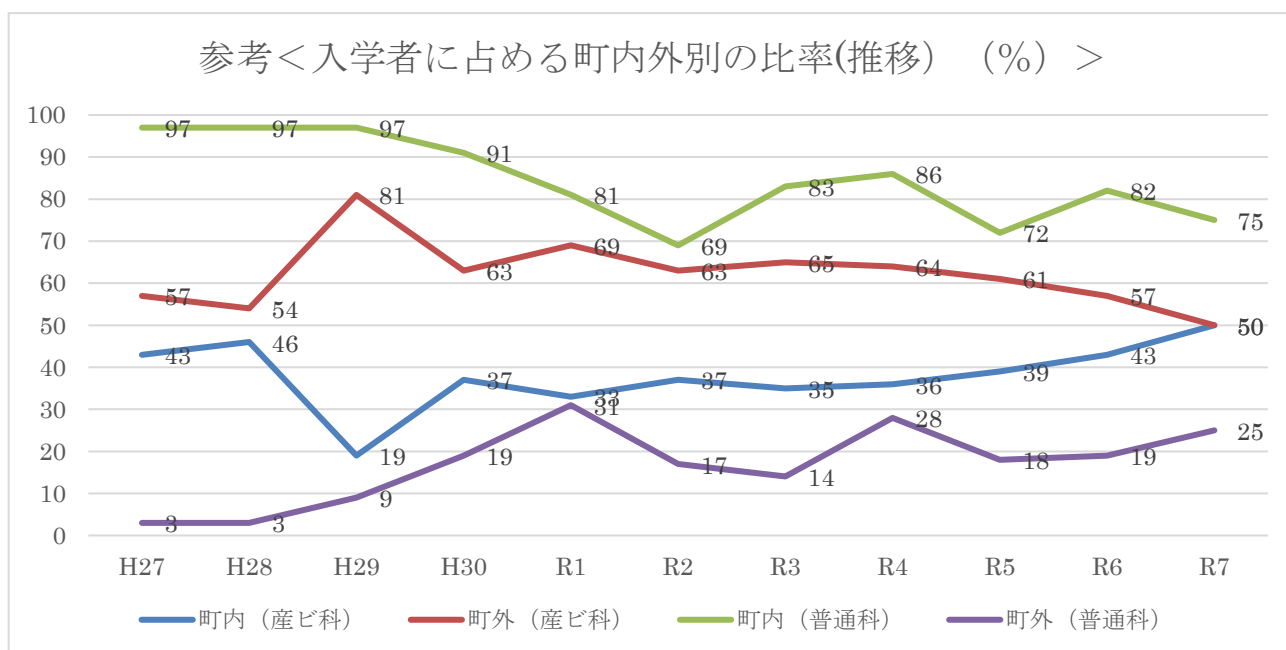
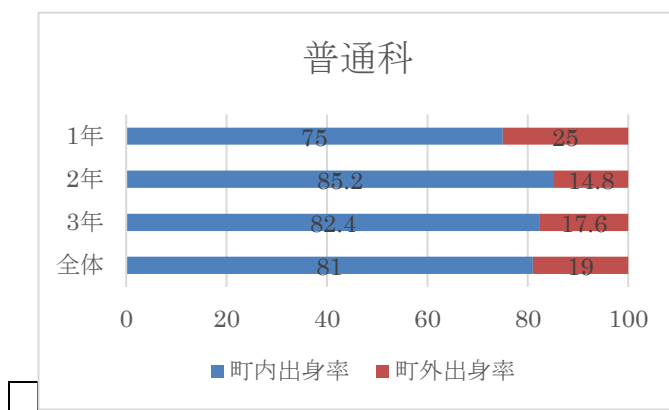
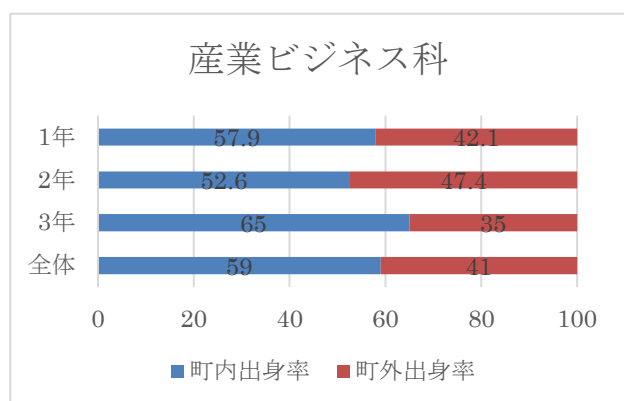
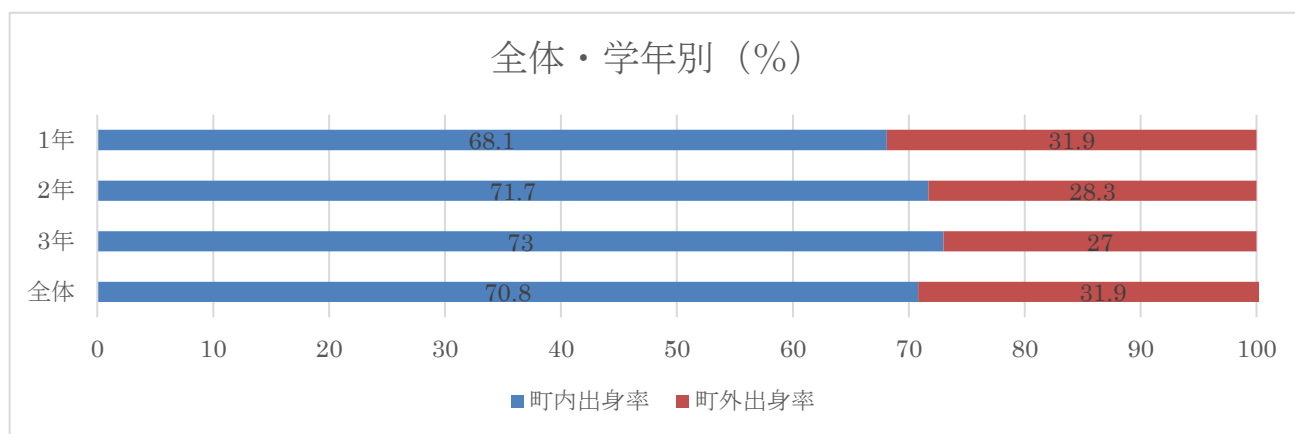
(3) 上記5(1)の質問で「いいえ」と答えた人は、コーナーに興味・関心がありますか。



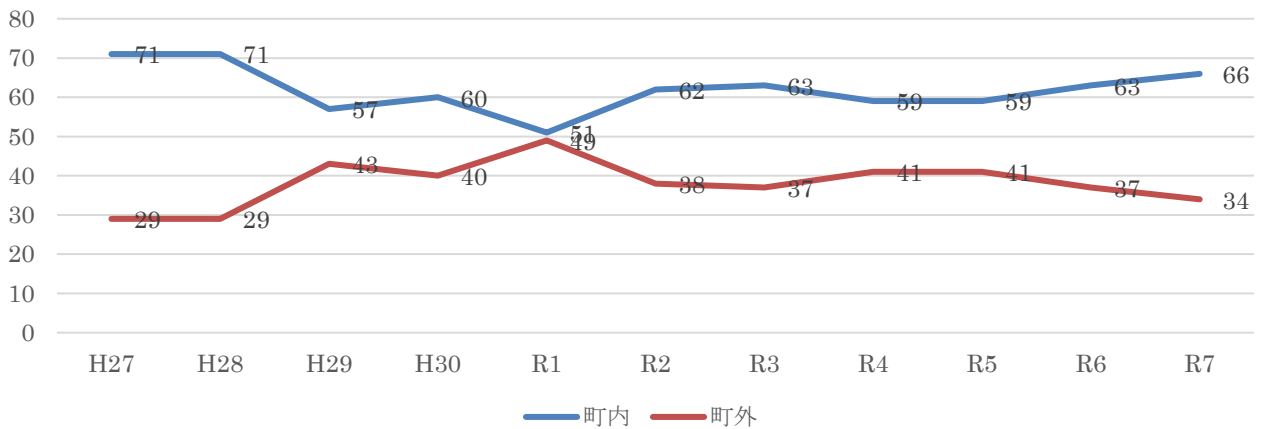
(考察) 1位「学校生活」、2位「オーストラリア姉妹校提携」「学校案内」と高校生活をイメージできる内容が良く見られている。HP 閲覧したことのない生徒も同様であるため、人気項目の充実が必要である。

2. 油木高校生 編

1 あなたの出身中学校はどちらですか。



参考 < 【全体】 入学者に占める町内外別の比率（推移）（％） >

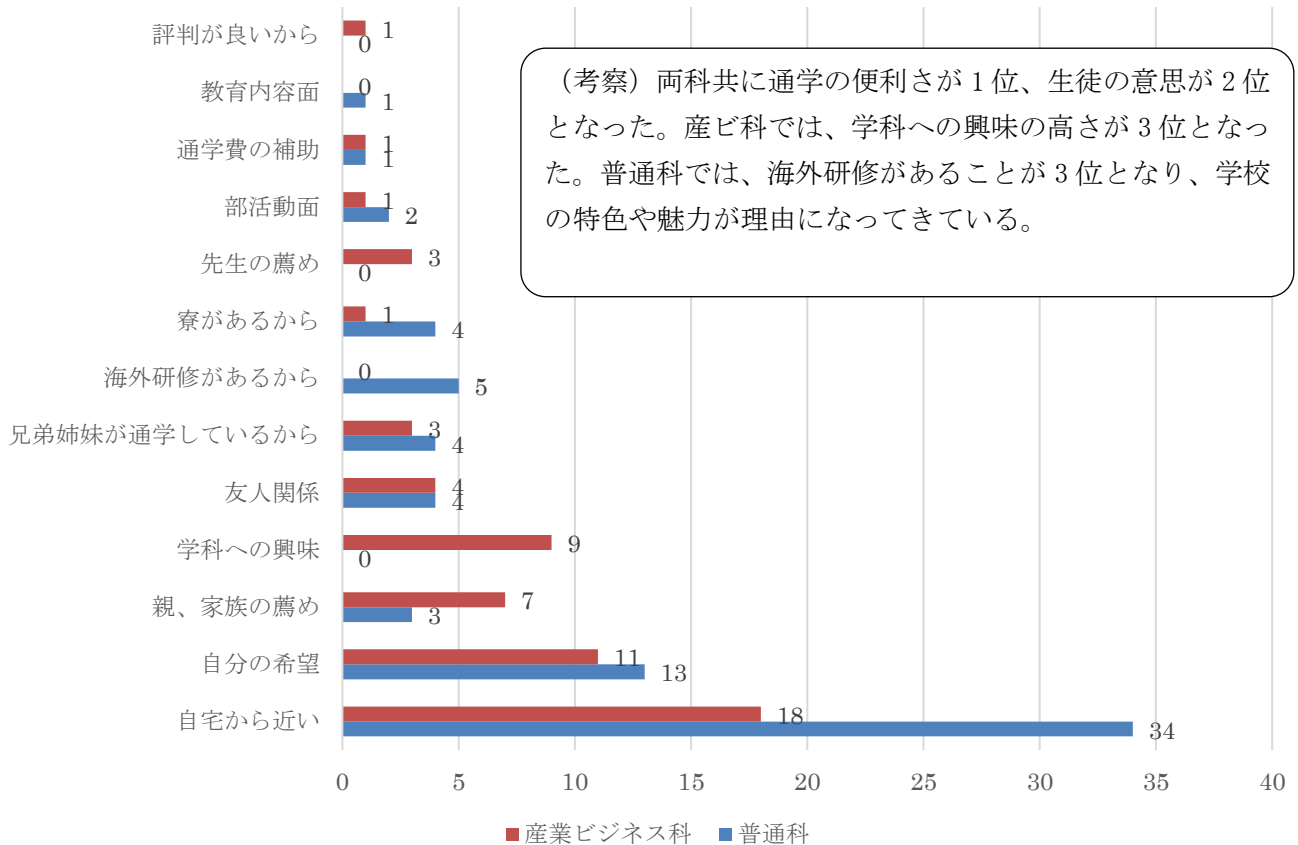


（考察）全体的には、地元率が66%。普通科の地元率が75%、産ビ科が50%となった。中高一貫教育校になる前は、普通科への町外入学生は少なかったが、年度によって増減はあるものの約2割が入学している。

町内中学校の生徒数が減少する見込みであり、町外からの入学者の確保が今後も必要である。

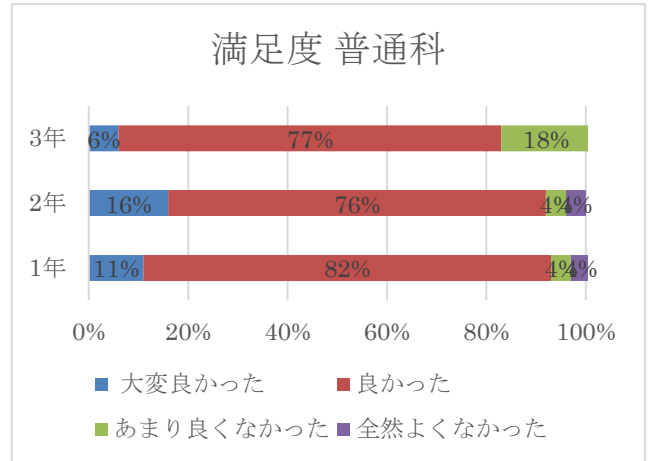
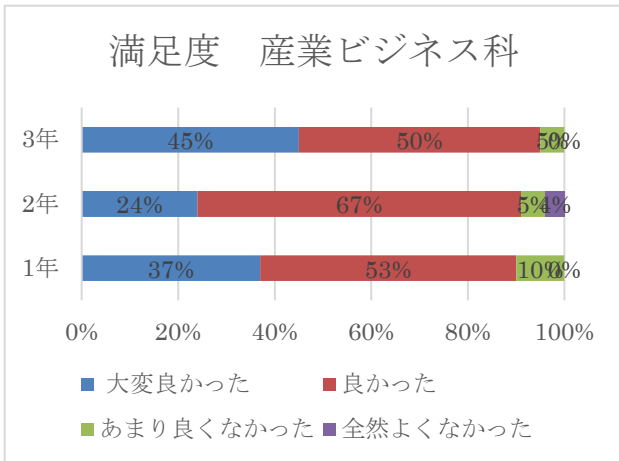
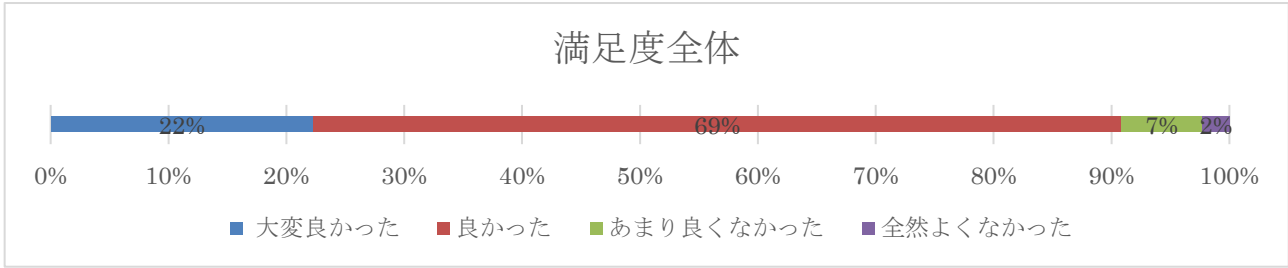
2 あなたが油木高校を進路選択した理由は何ですか、該当するものを全て選んで下さい。

油木高校への進学理由



（考察）両科共に通学の便利さが1位、生徒の意思が2位となった。産ビ科では、学科への興味の高さが3位となった。普通科では、海外研修があることが3位となり、学校の特色や魅力が理由になってきている。

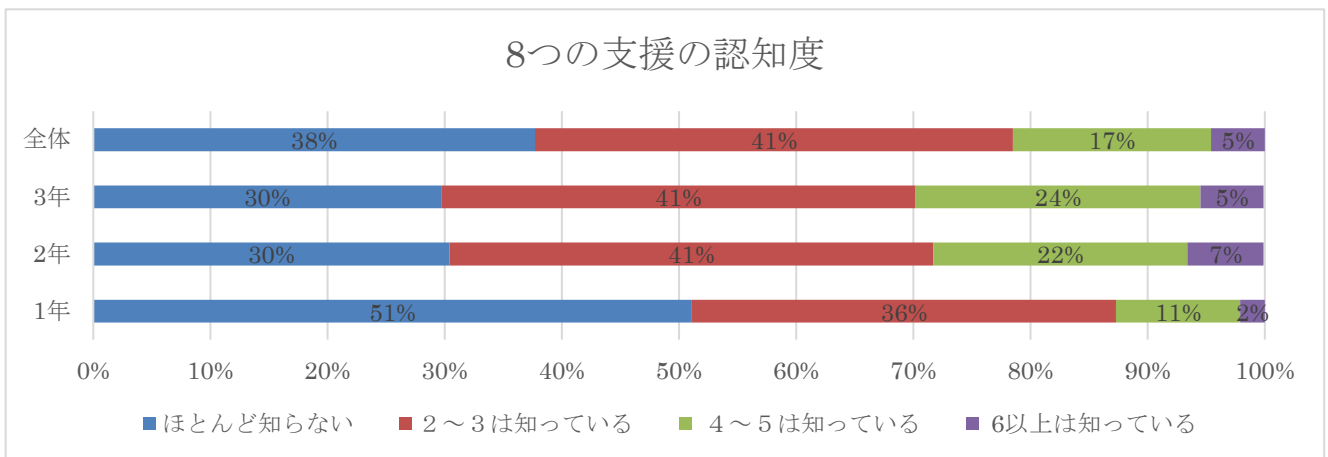
3 あなたは油木高校へ進学して、どうでしたか。



(考察) 昨年度比、産ビ科の肯定的回答は100%→92%、普通科は95%→90%へ。産ビ科は3年生の満足度が高くなっている。

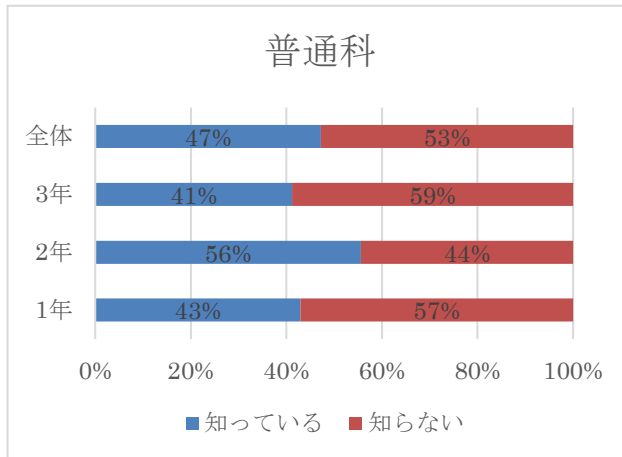
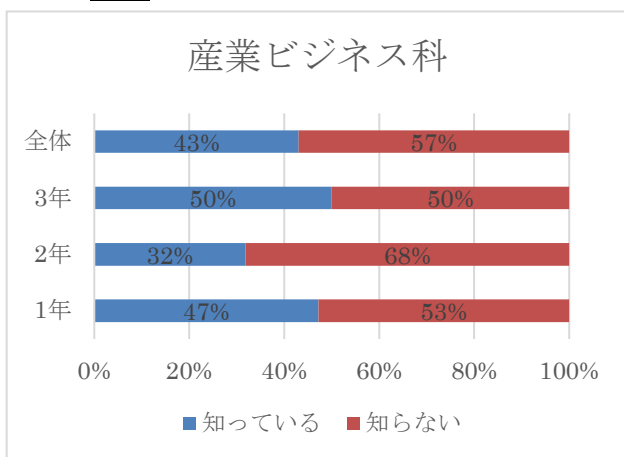
4 本町では、油木高校の教育充実のために色々な支援を行っていますが、そのことについて次の質問に答えて下さい。

(1) 本町では本年度「油木高校生への8つの支援」を実施していますが、内容について知っていますか。

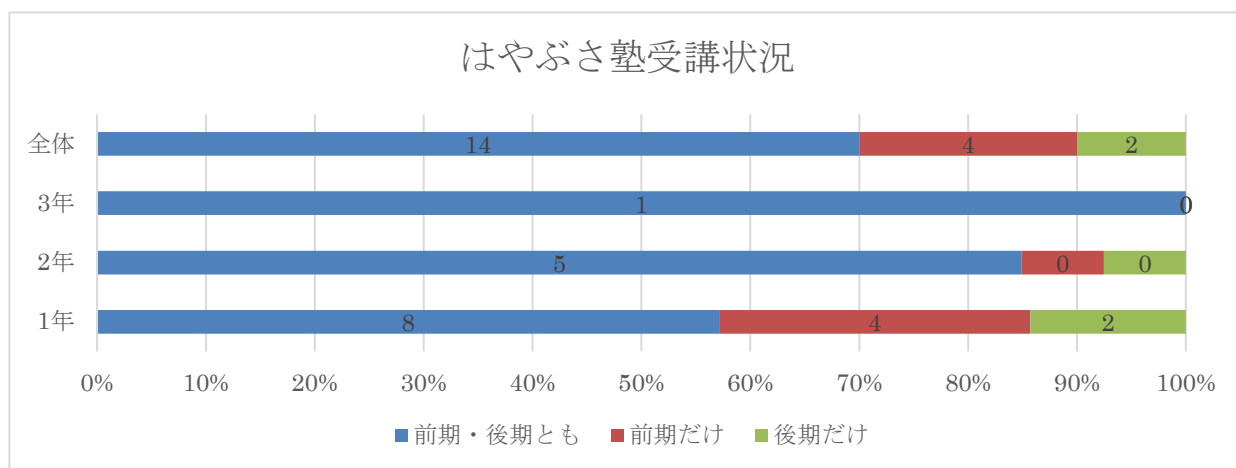


(考察) 「6以上知っている」が前年4.6%(前年2%)、ほとんど知らないが全体37%(前年41%)と微増。4月に高校全校集会にて8つの支援についての説明を行ったが、個別に利用機会のないものについては認知が低い。

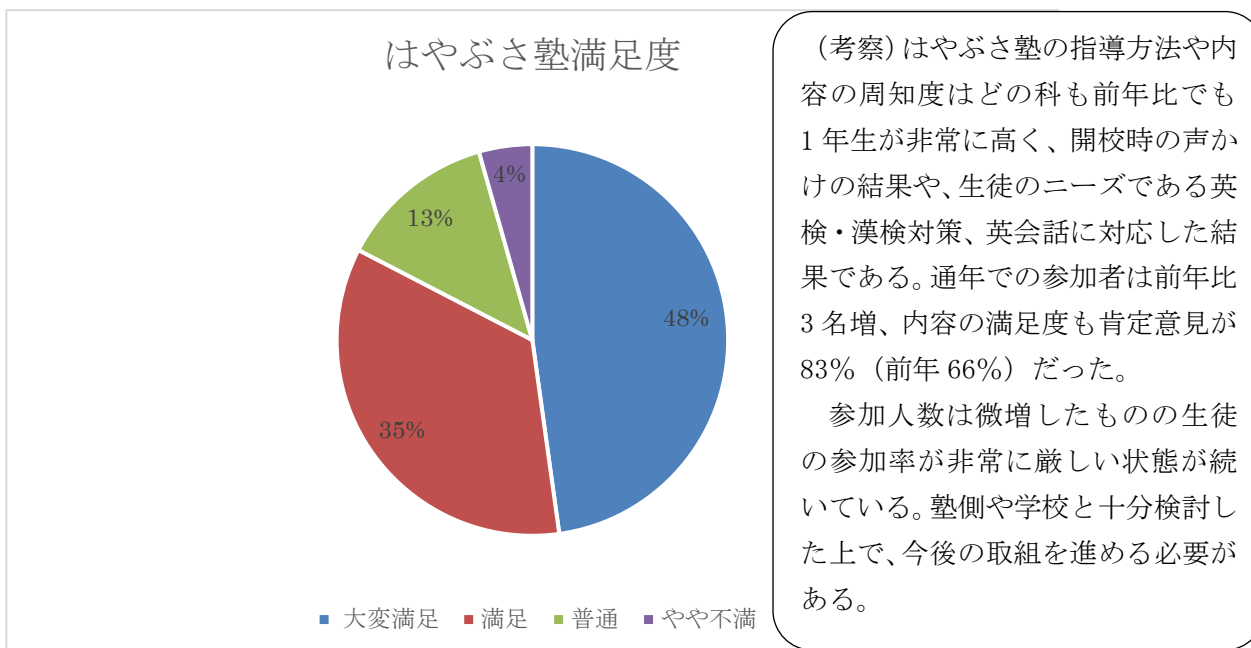
(2) **Q1** 「はやぶさ塾」では、どんな方法で何の学習をしているのか知っていますか。



Q2 本年度「はやぶさ塾」に参加した人だけ答えて下さい。あなたの受講状況を教えてください。

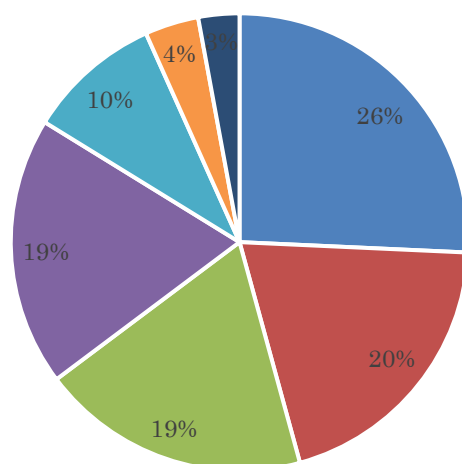


Q3 「はやぶさ塾」に参加した人だけ答えて下さい。参加してみたの感想はいかがですか。



Q4 「はやぶさ塾」に参加していない理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んで下さい。

はやぶさ塾に通わない理由



(考察) (考察) 物理的な障壁(交通手段)が20%、部活動との両立の難しさ:「部活動後の意欲」や「時間がない」という回答が合計で約30%「必要性を感じない」「一人で勉強したい」が合わせて約45%に上ります。今後は、終了時間の調整や帰宅手段の確保、そして部活動とのバランスを考慮したスケジュールの提供が可能な方法でのあり方が求められている。

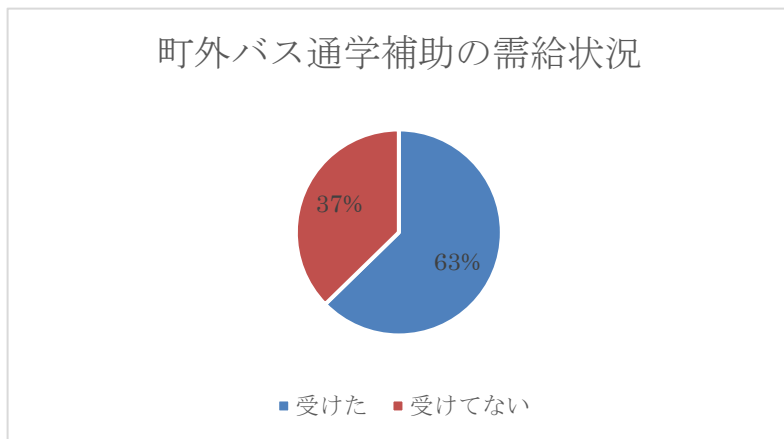
- 必要性を感じない
- 帰宅手段がない
- 一人で勉強したい
- 部活動後の意欲がわからない
- 塾に行く時間がない
- 勉強の仕方が合わない
- 受講料が高い

(3) 本町では油木高校生に対して各種検定受験料の補助をしていますが、令和7年2月～令和8年1月の期間で、これらの制度を利用したことがありますか。

	普通科			産業ビジネス科			合計
	1年生	2年生	計	1年生	2年生	計	
英語検定	42.90%	37.00%	29.40%	26.30%	15.80%	20.00%	30.00%
漢字検定	14.30%	33.30%	11.80%	42.10%	36.80%	5.00%	23.80%
数字検定	0	7.40%	0	0	0	0	1.50%
小型車両系建設機械(整地等)小型フォークリフト特別教育講座	0	11.10%	0	0	68.40%	65.00%	22.30%

(考察) 検定料無料が2年目となり、産業ビジネス科(産ビ科)における小型車両系建設機械(整地等)小型フォークリフト特別教育講座は圧倒的な利用率となっている。一方英語検定、漢字検定については、繰り返し受験する生徒が多く、数学検定は極めて低い利用率となった。

(4) 町外からバス通学している生徒で、本年度「定期券購入費の50%補助」を受けましたか。



(5) 次の質問については、1、2年生のみ答えて下さい。

Q1 来年度、オーストラリア海外研修への参加希望がありますか。

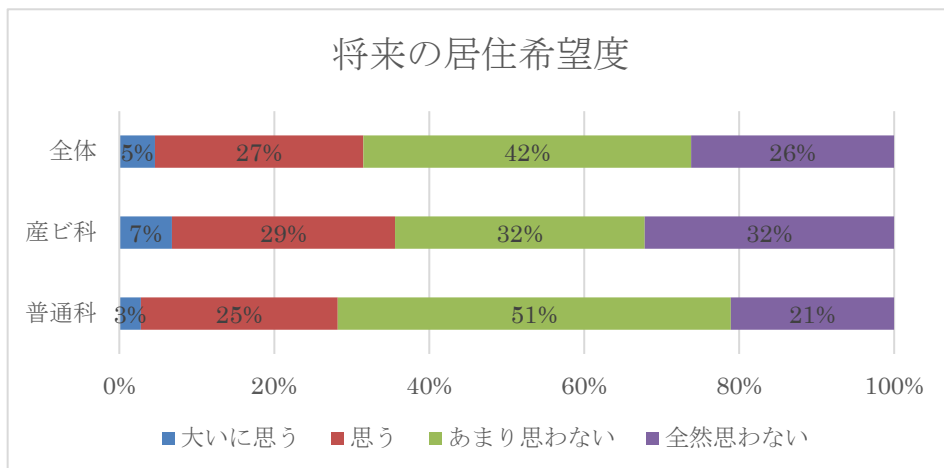
	普通科			産業ビジネス科			合計
	1年生	2年生	計	1年生	2年生	計	
希望あり	5人	4人	9人	2人	0人	2人	11人
希望なし	11人	15人	26人	0人	10人	10人	36人
わからない	12人	8人	20人	2人	10人	16人	36人

Q2 「希望あり」と答えた生徒で、第一希望の研修期間はどちらですか。

	普通科			産業ビジネス科			合計(人)
	1年生	2年生	計	1年生	2年生	計	
短期(2週間)	4	1	5	2	1	3	8
長期(10週間)	1	2	3	0	0	0	3

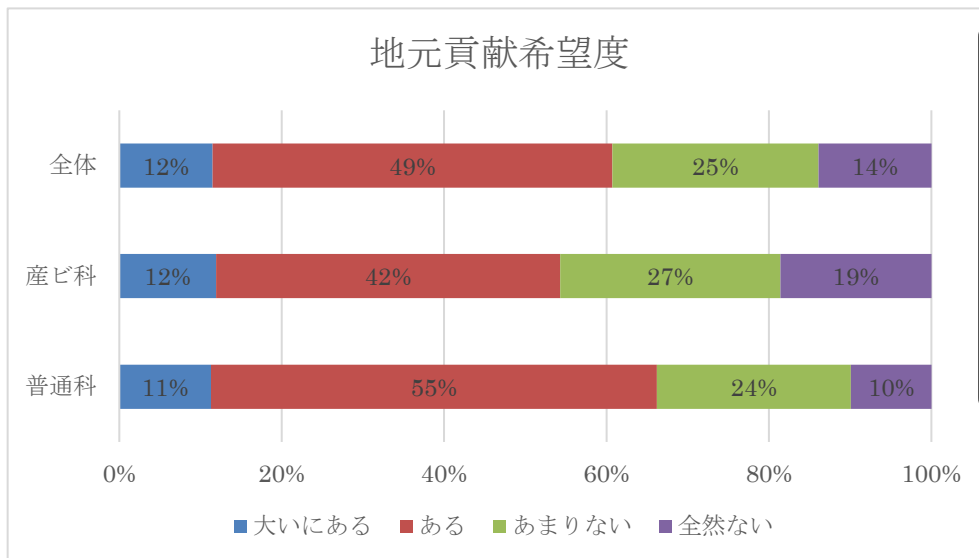
(考察) 現段階では希望者合計11名と定員数を超えているが、前年の希望者合計25名からは半減。普通科における強い関心があり、回答者の油木高校への進学理由と重なっている。

5 (1) あなたは、将来、神石高原町に住んでみたいと思いますか。



(考察) 全体では、約3割の生徒が将来的に神石高原町に住みたいと考えています。前年度と異なり、産業ビジネス科の方が、普通科に比べて将来的な居住に対して肯定的な意向を持っています。

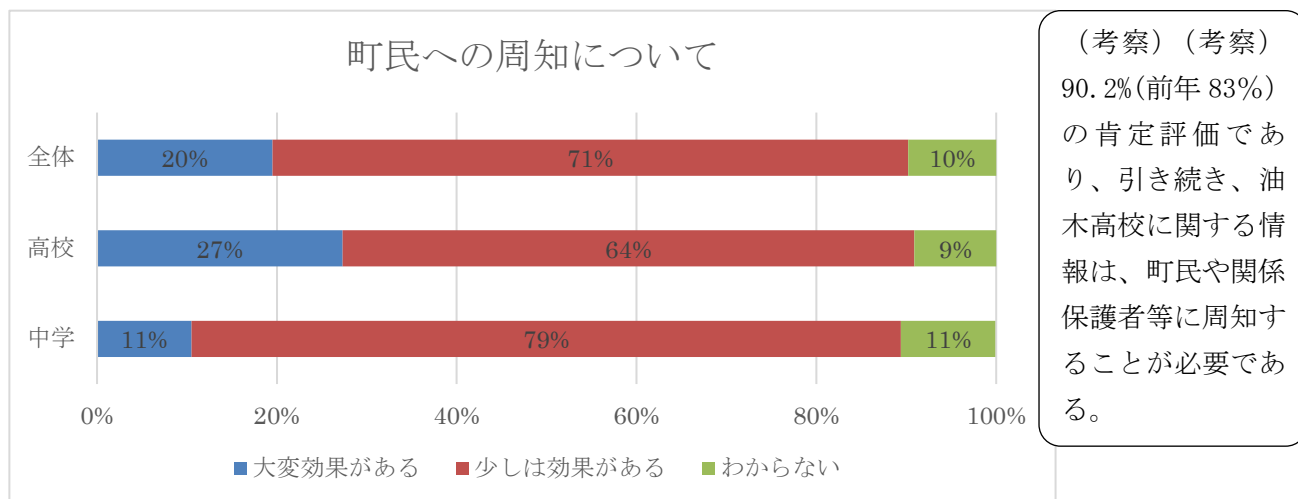
(2) あなたは、自分の地元へ貢献したいという気持ちがありますか。



(考察) 全体では、61% (前年 63%) の生徒が地元への貢献に対して肯定的な意向を示しており、例年通り、普通科の方が地元への貢献希望度が高い傾向にある。

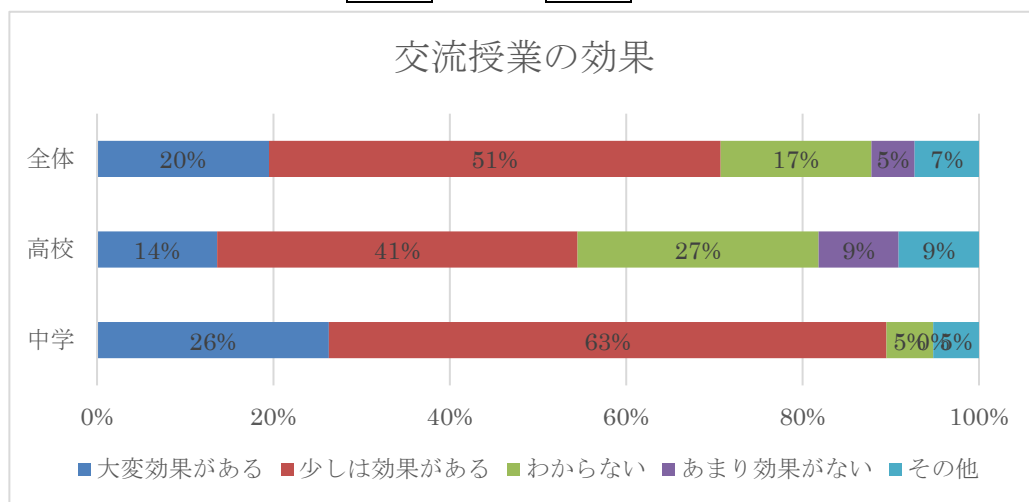
3. 町内中学校・油木高校教職員 編

- 1 本町では油木高校のPRや魅力化のために、「神石高原町が実施している油木高校生への8つの支援」、「油木高校ガイドブック」などを作製し、町民や関係保護者に配布していますが、これらのことについてどう思われますか。

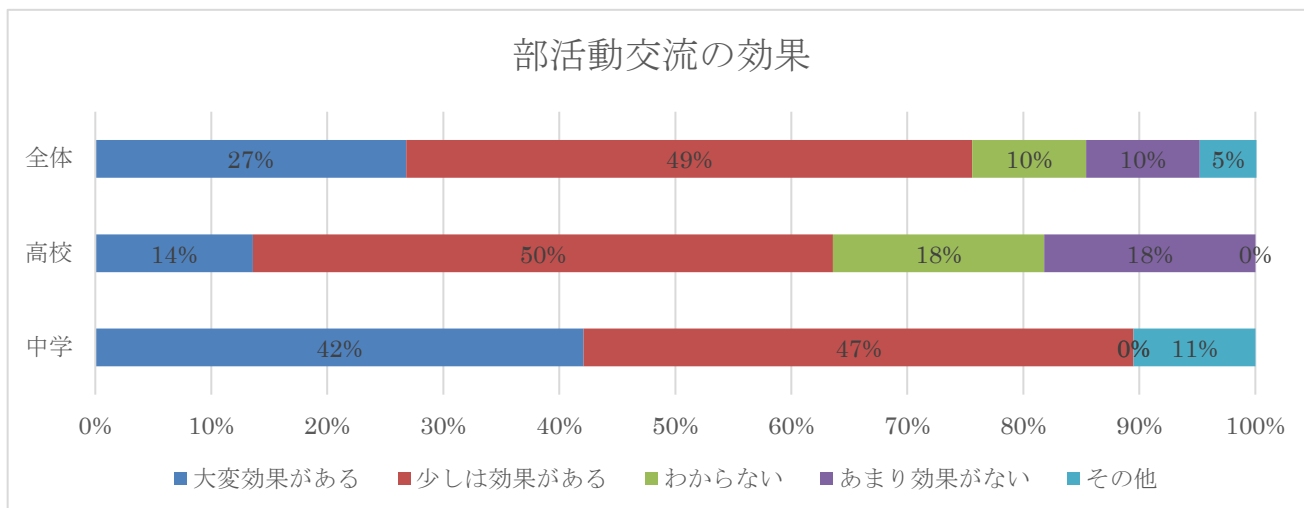


- 2 中高連携の中で、交流授業、部活動交流、学校行事への参加、教職員の交流などが実施されていますが、連携教育の効果についてどう思われていますか。

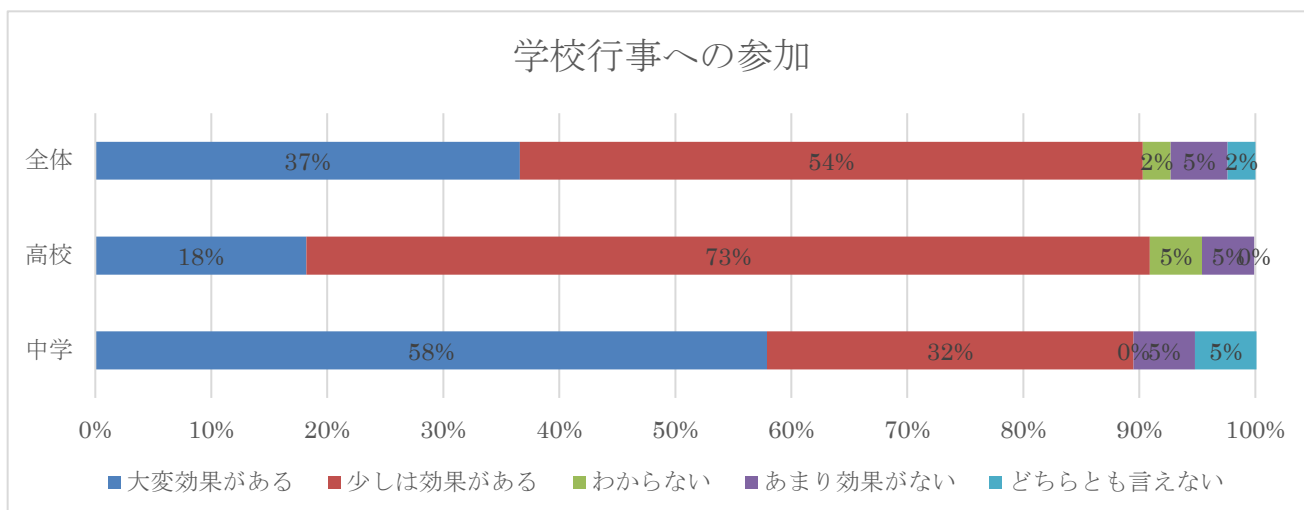
(1) 定例的な交流授業 (高→中: 英語、中→高: 音楽・英語) について、どう思われていますか。



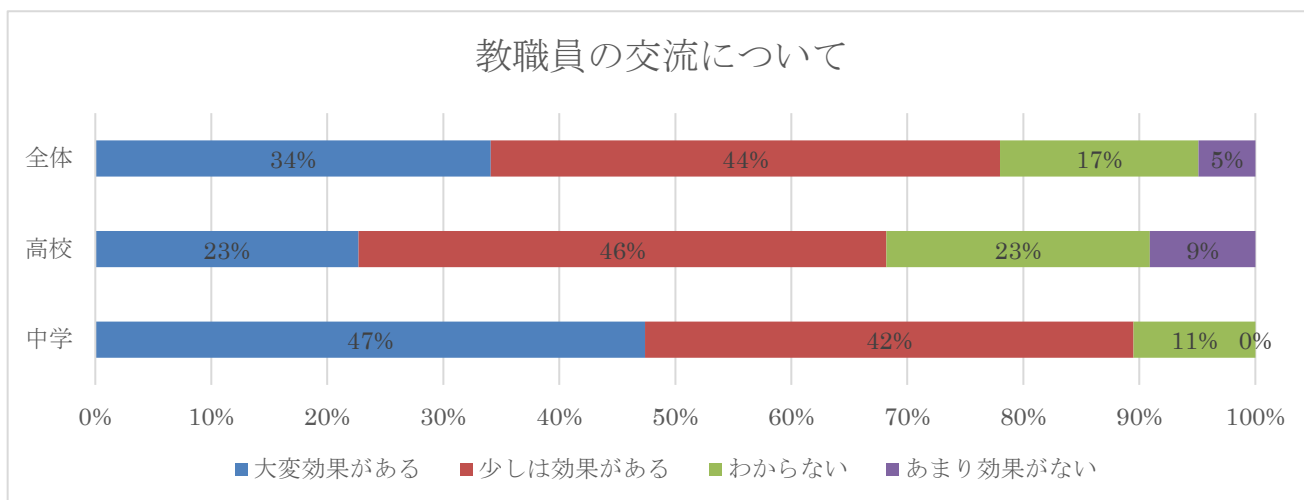
(2) 部活動交流について、どう思われていますか。



(3) 学校行事（オープンスクール・学習成果発表会など）への参加について、どう思われていますか。

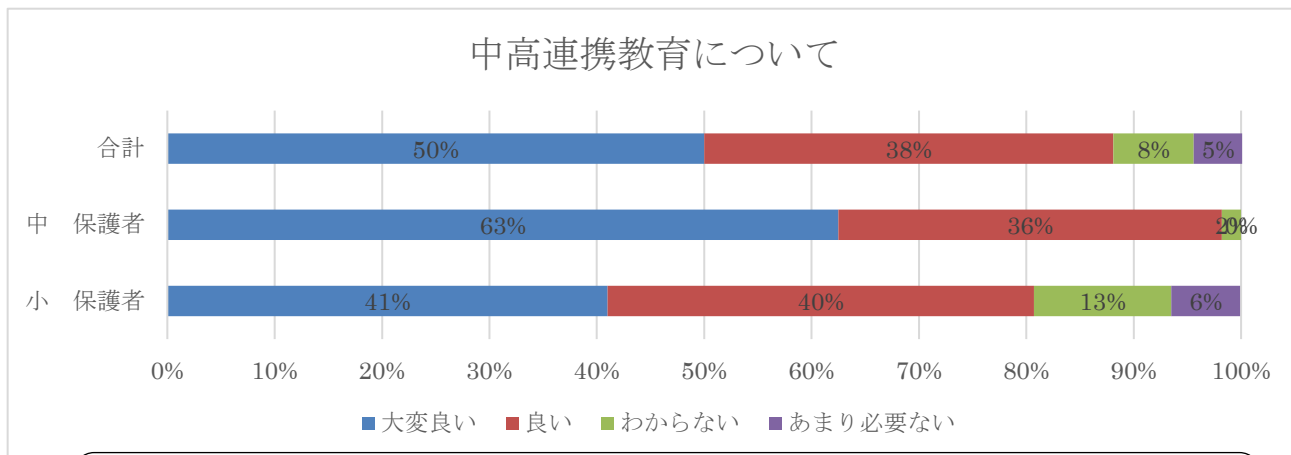


(4) 教職員の交流（教科部会・教科外部会など）について、どう思われていますか。



4. 小学校(4～6年生)・全中学校 保護者 編

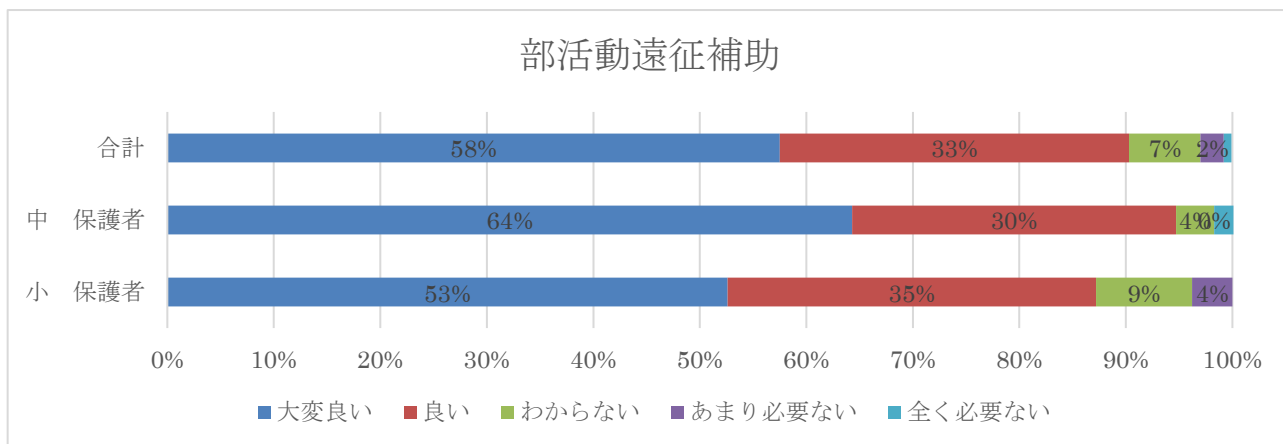
- 1 油木高校と町内中学校との連携教育（例：中高交流授業、部活動交流、学校行事への相互参加、教職員の交流など）が実施されていますが、そのことについてどう思いますか。



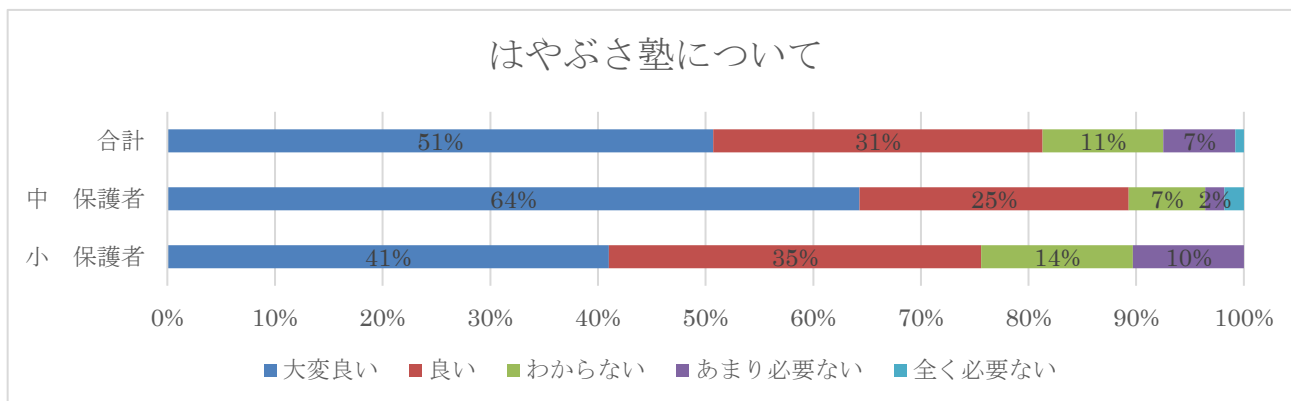
（考察）（考察）肯定的意見が 88%（前年 92%）と、高い評価である。特に中学生は実際の交流があることで保護者の評価も高く、今後も情報提供を継続する必要がある。

- 2 本町が油木高校の魅力策として様々な教育支援を実施していますが、それらについて、次の質問にお答えください。

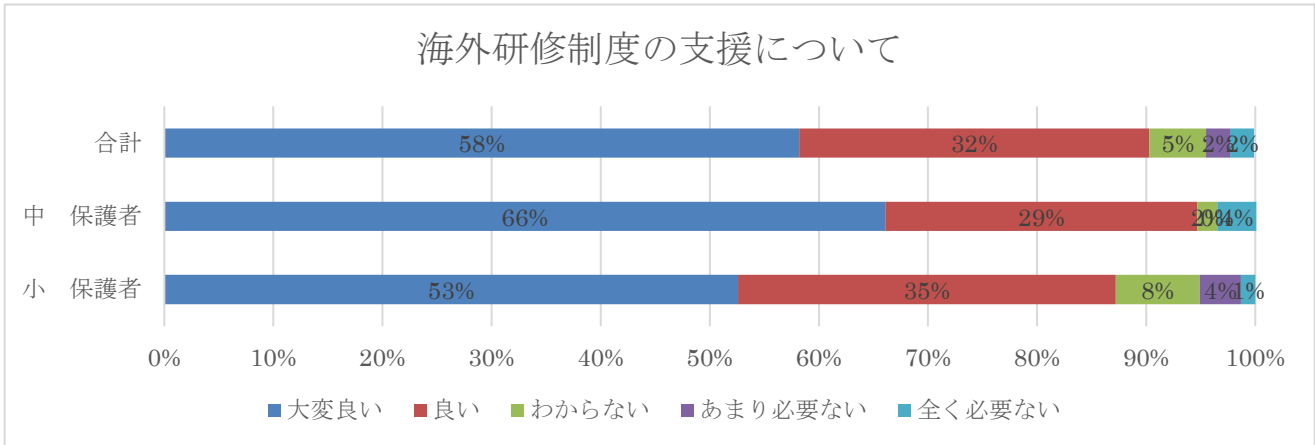
（1）部活動での遠征費補助について、どう思いますか。



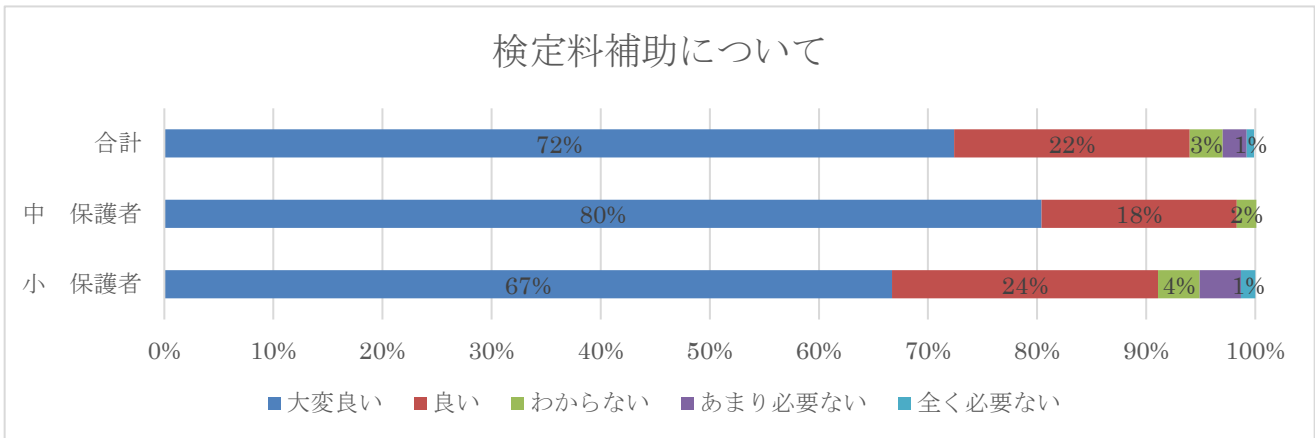
（2）油木高校内での学習支援塾（はやぶさ塾）の開設について、どう思いますか。



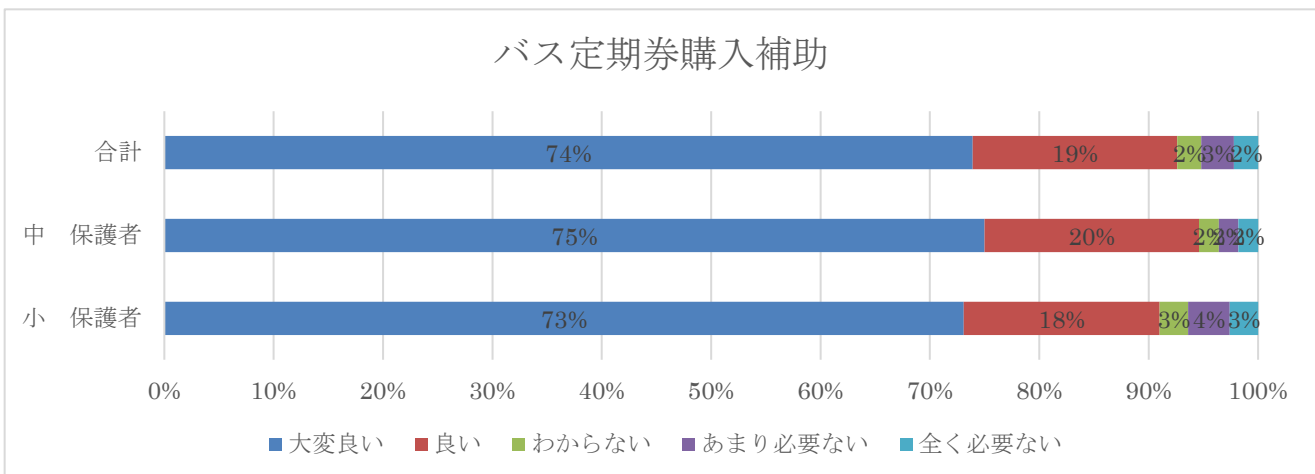
(3) 海外（短期・長期）研修事業への支援について、どう思いますか。



(4) 各種検定受検料の補助（ただし合格者のみ）について、どう思いますか。

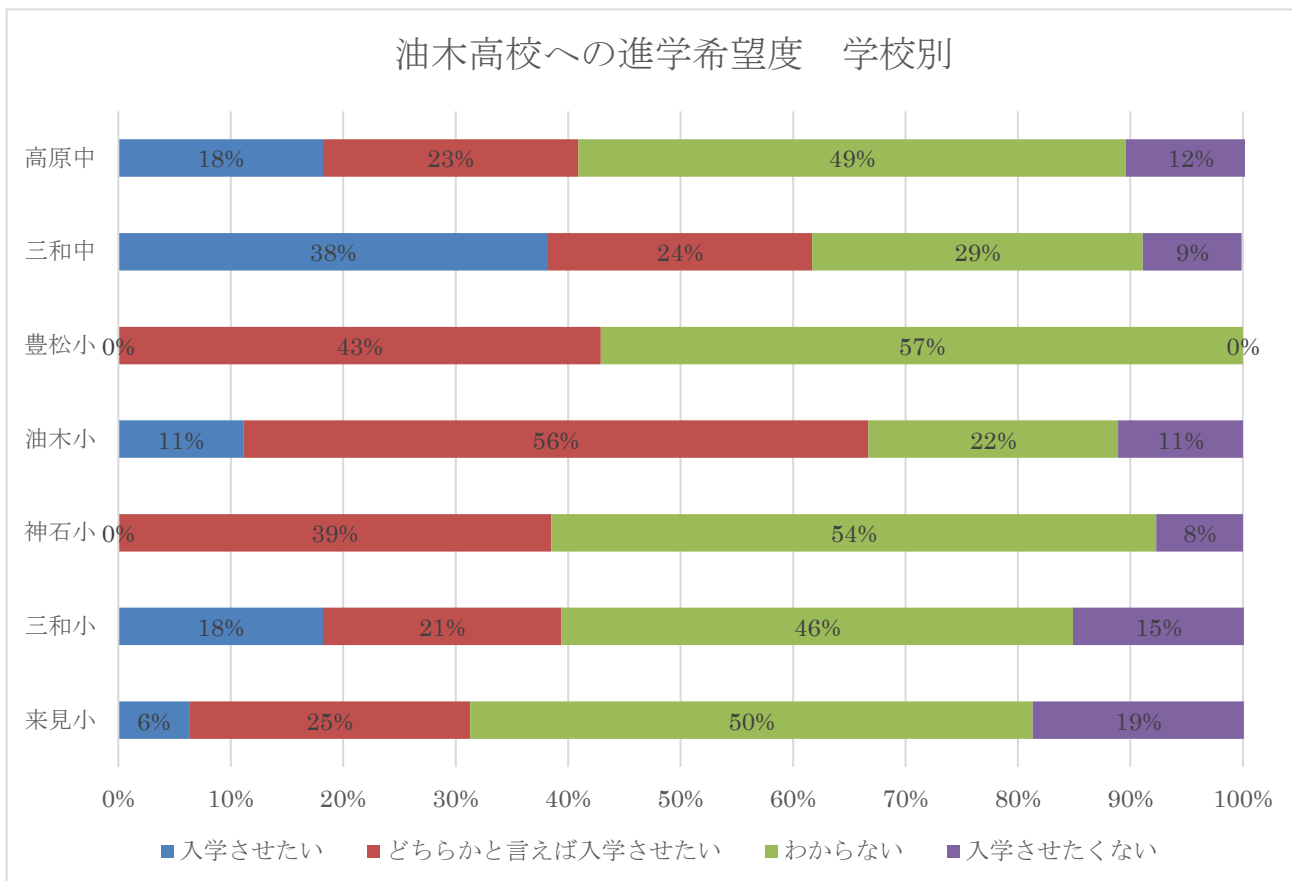
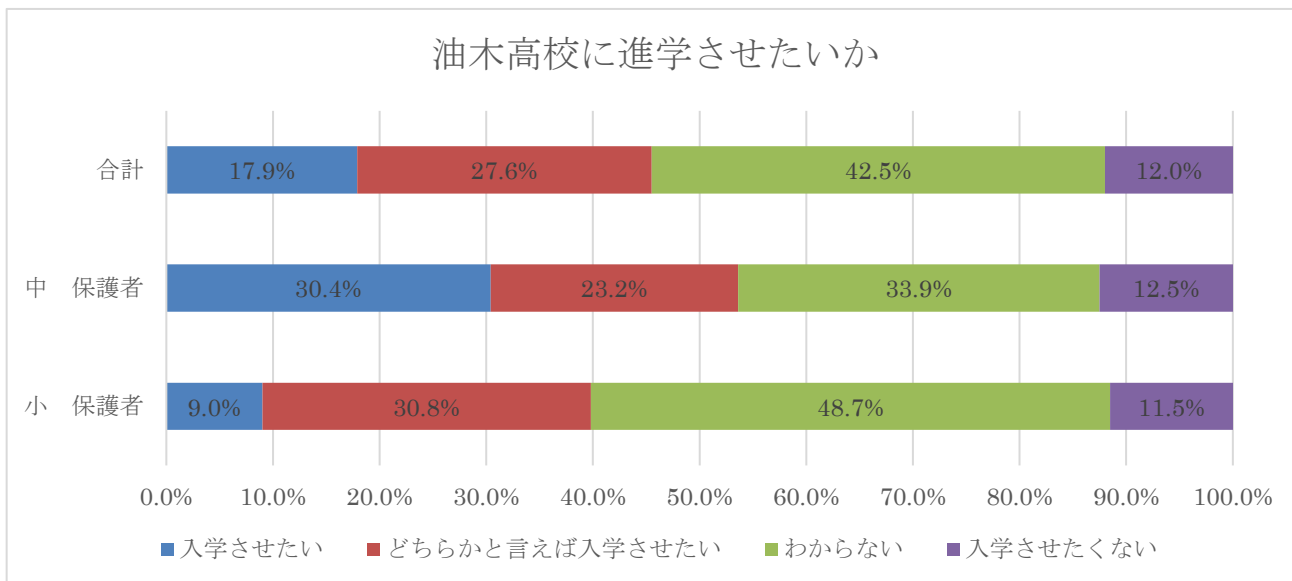


(5) 生徒へのバス定期券購入補助



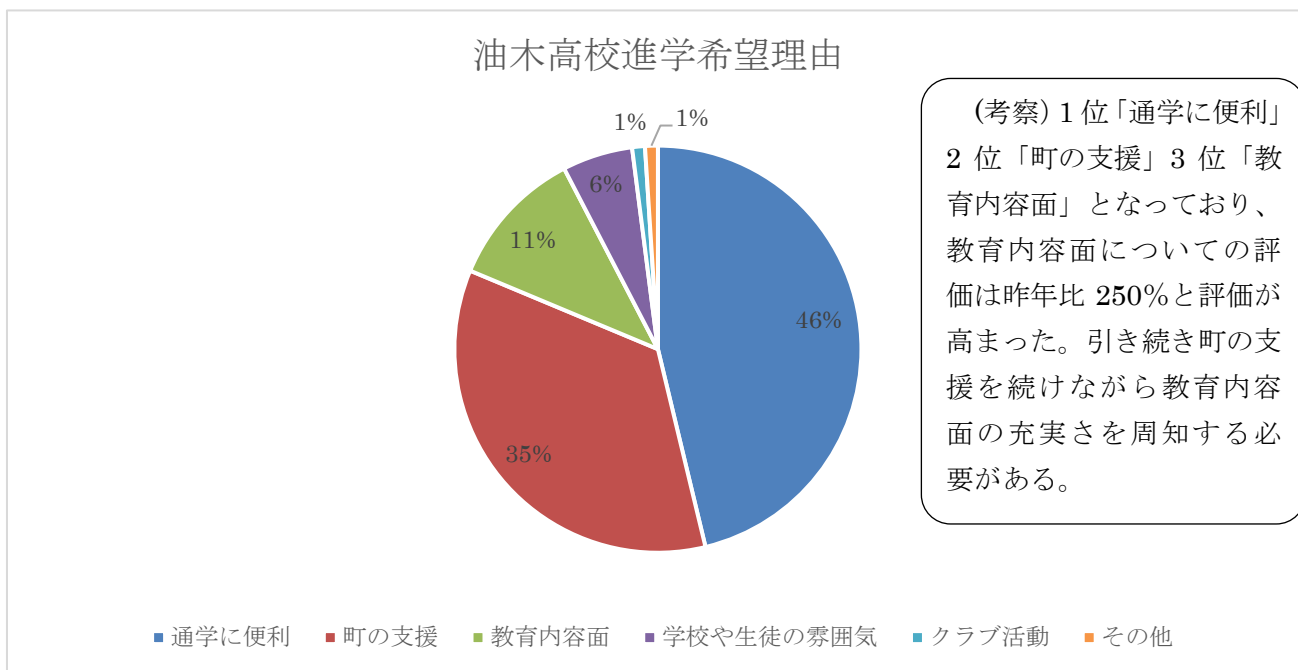
(考察) はやぶさ塾以外の項目で、9割以上が「大変よい・よい」の肯定的回答で、非常に高い評価を受けている。今後とも支援制度の維持や中身の充実を図りながら、更なる油木高校の魅力づくりに期待がかかっている。

6 (1) あなたの子どもさんを油木高校に進学させたいと思いますか。

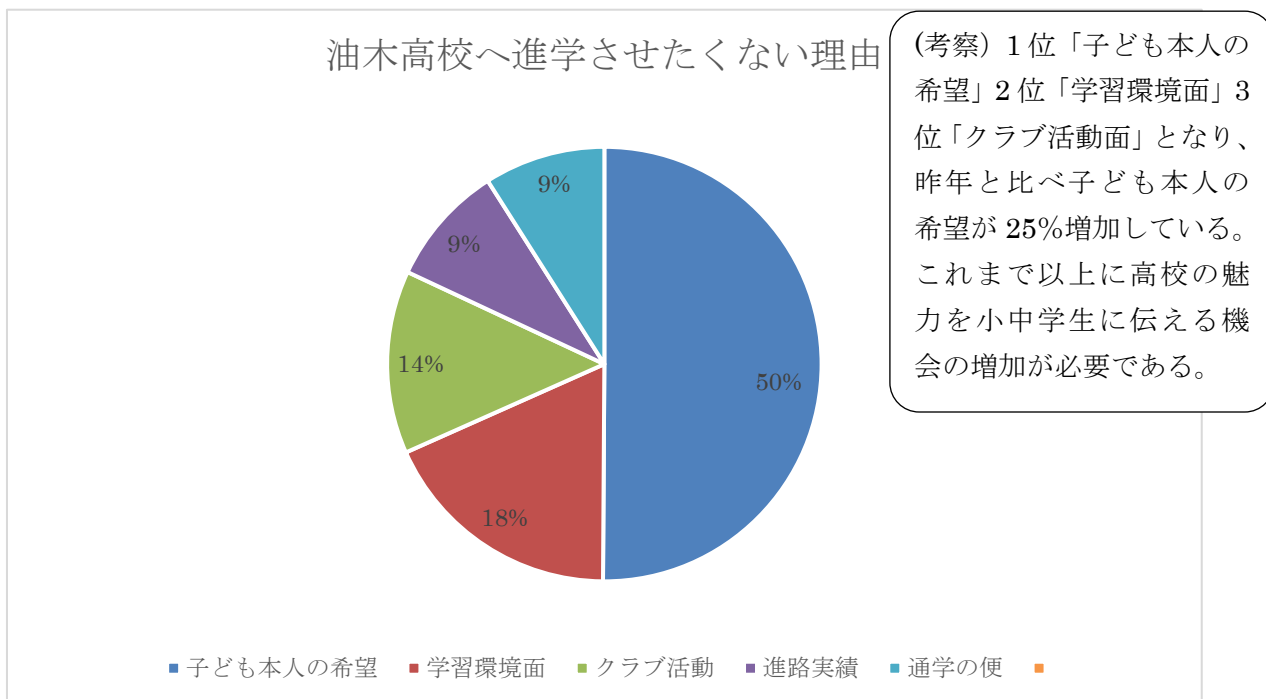


(考察) 全体の肯定的意見は 46%(前年 51%)。入学させたくないは 12%(前年 9%)、油木小学校、三和中学校では半数以上が進学を希望している。「わからない」という回答が全体の 43%(前年 40%) であり、今後「入学させたい」と思われるような教育実践や魅力の強化、その周知が必要である。

(2) 上記(1)の質問で「入学させたい」or「どちらかと言えば入学させたい」と答えられた方で、その理由と思うものを選んでください。(複数回答可)

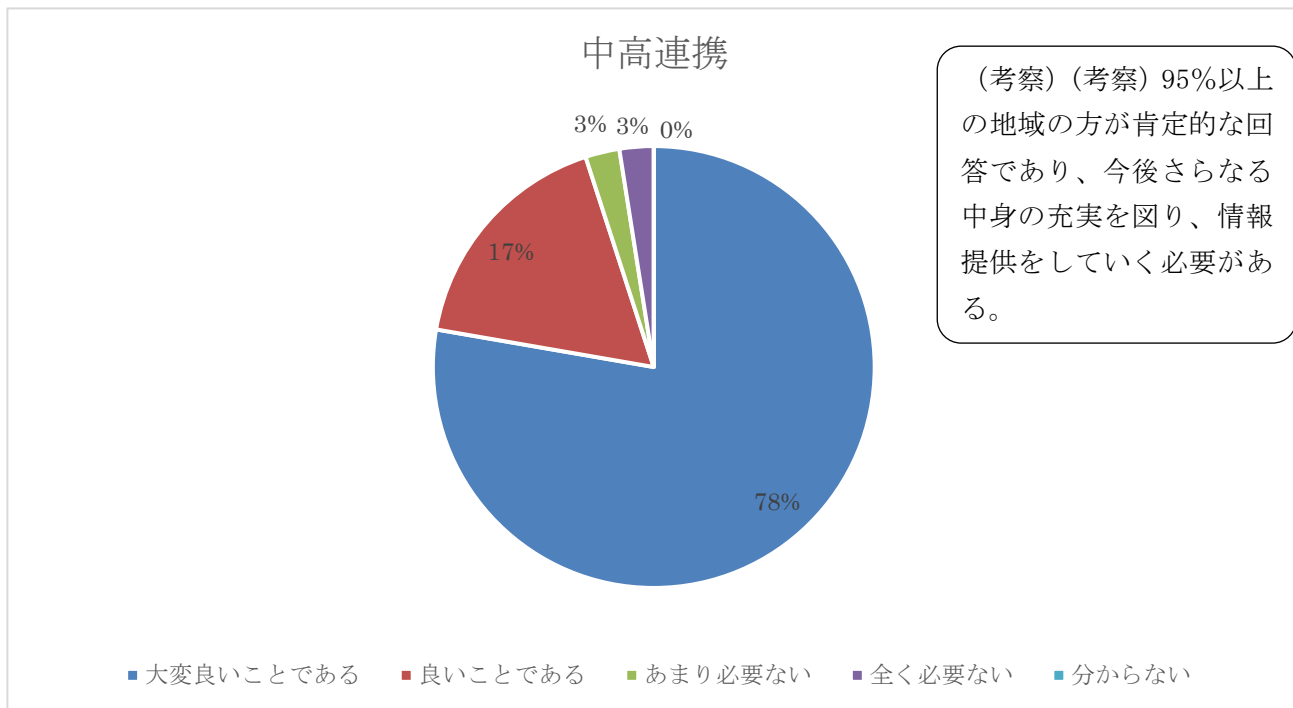


(3) 上記 6 (1) の質問で「入学させたくない」と答えられた方は、子どもさんの高校進路選択をする上で、保護者として重要視したいことはどんなことですか。次の中から最も重要視したいものを2つ選んで下さい。

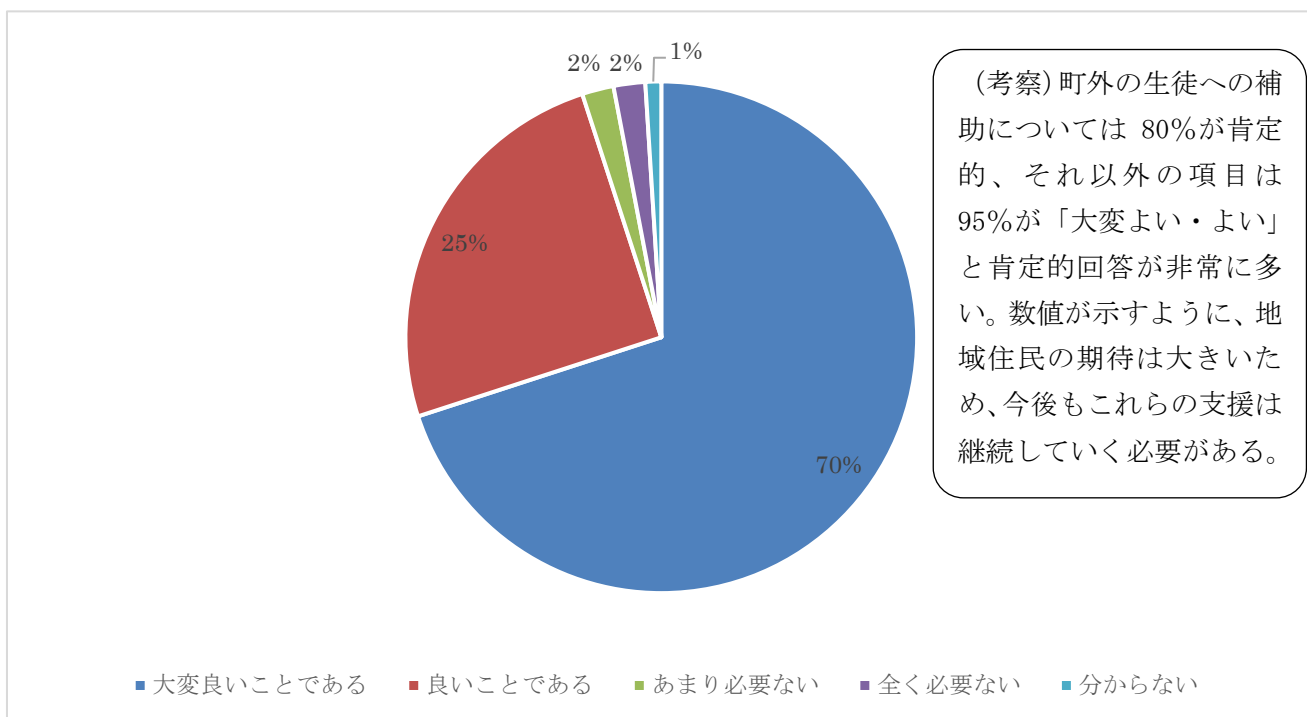


5. 町内地域 編

- 1 現在、油木高校と町内中学校との連携教育（例：中高交流授業、部活動交流、学校行事への相互参加、教職員の交流など）が実施されていますが、そのことについてどう思いますか。



- 2 本町が油木高校の魅力策として様々な教育支援を実施していますが、それらについて、どう思われますか。

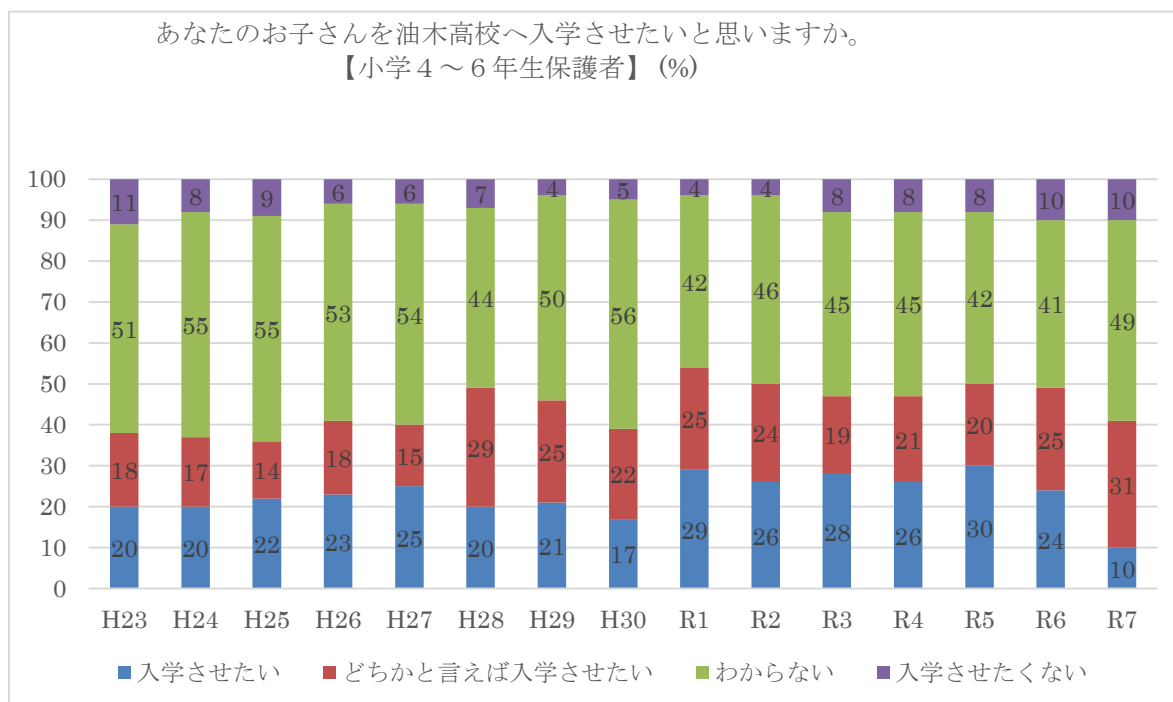


6. 資料（アンケート結果の推移、入学率等の推移）

＜連携型中高一貫教育に係るアンケート調査結果の推移＞

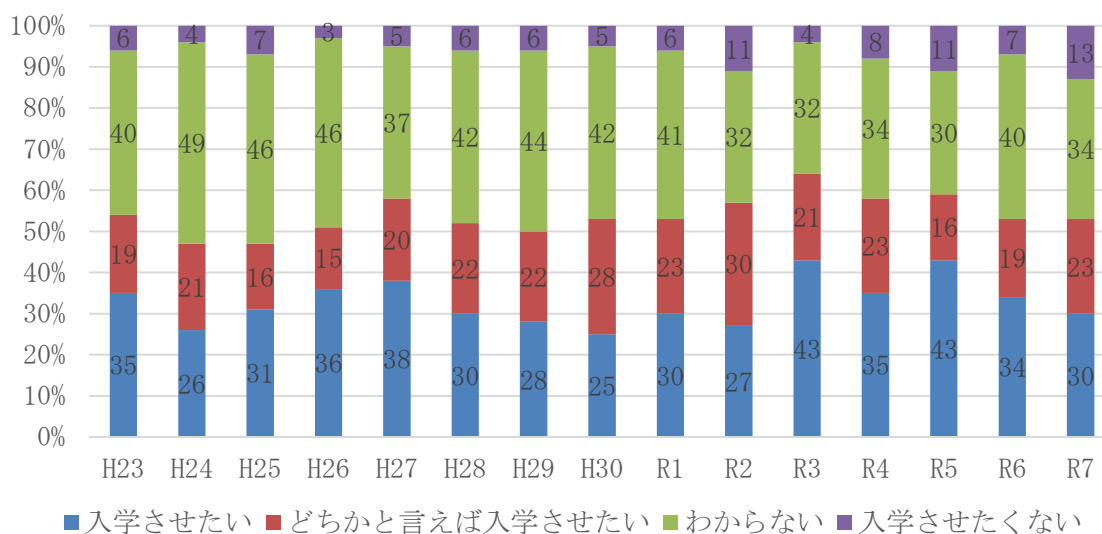
あなたのお子さんを油木高校に入学させたいと思いますか。

【小学生保護者（4～6年）】



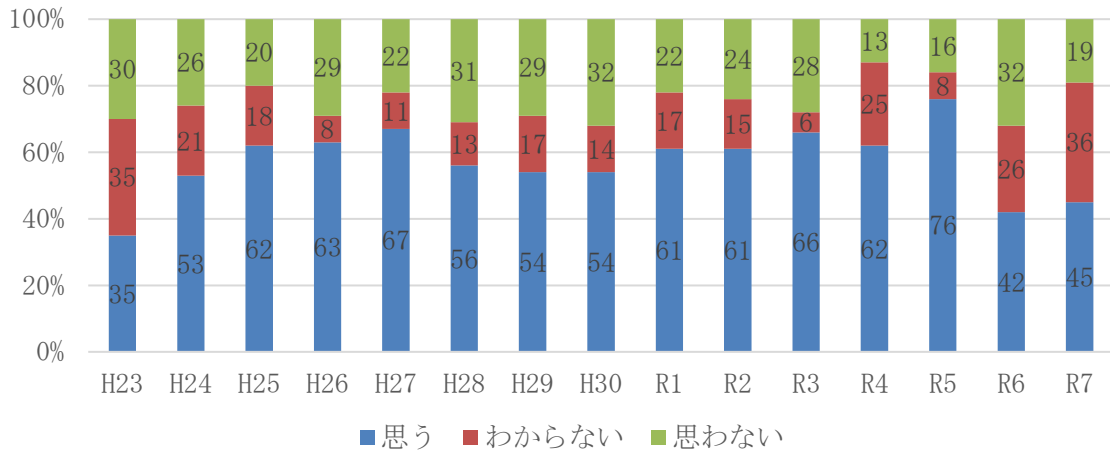
あなたのお子さんを油木高校に入学させたいと思いますか。

【中学生保護者】（%）

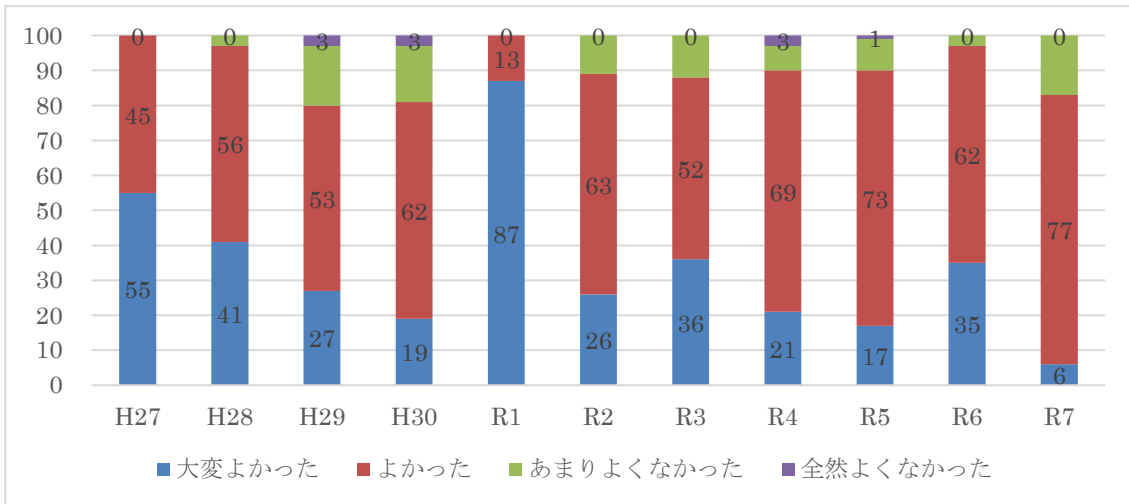


あなたは油木高校に進学したいと思いますか。

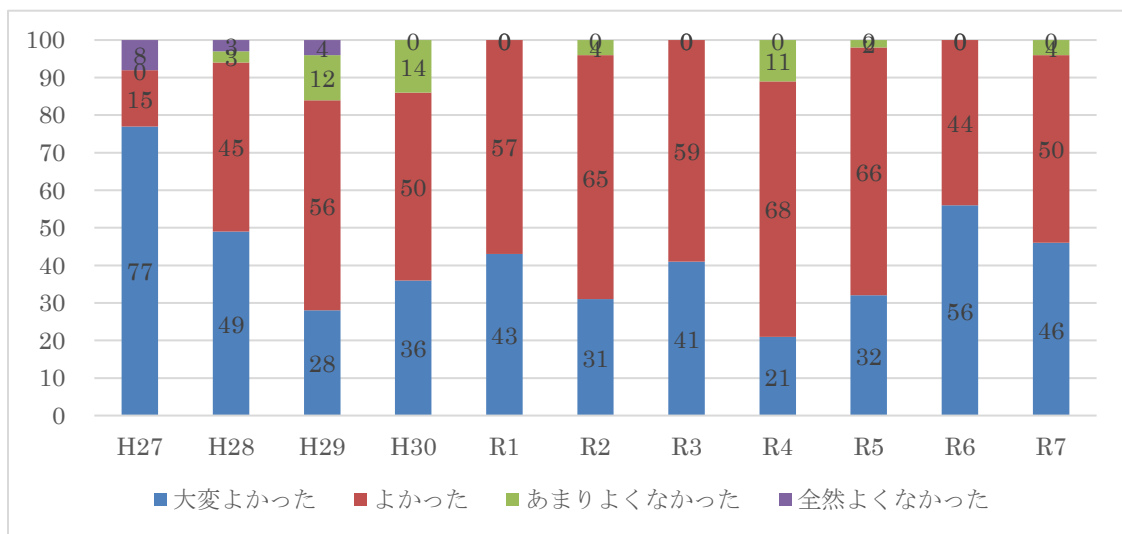
【中学3年生】



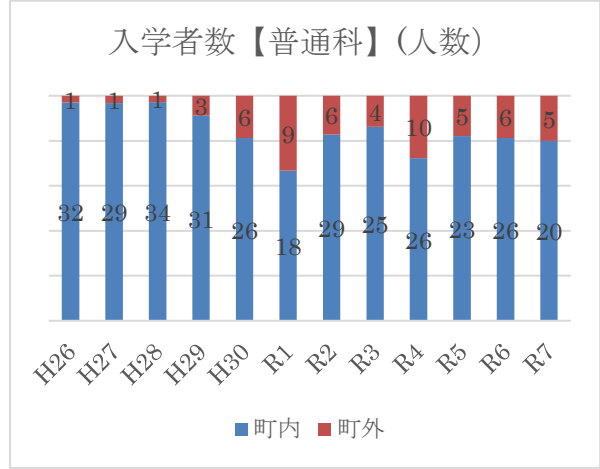
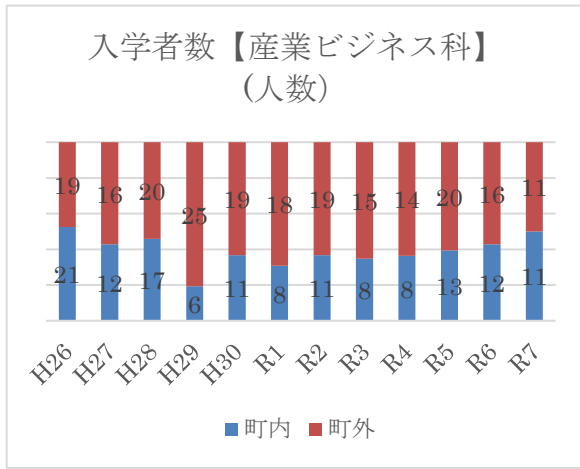
あなたは油木高校に進学して、どうでしたか。 【普通科3年生】



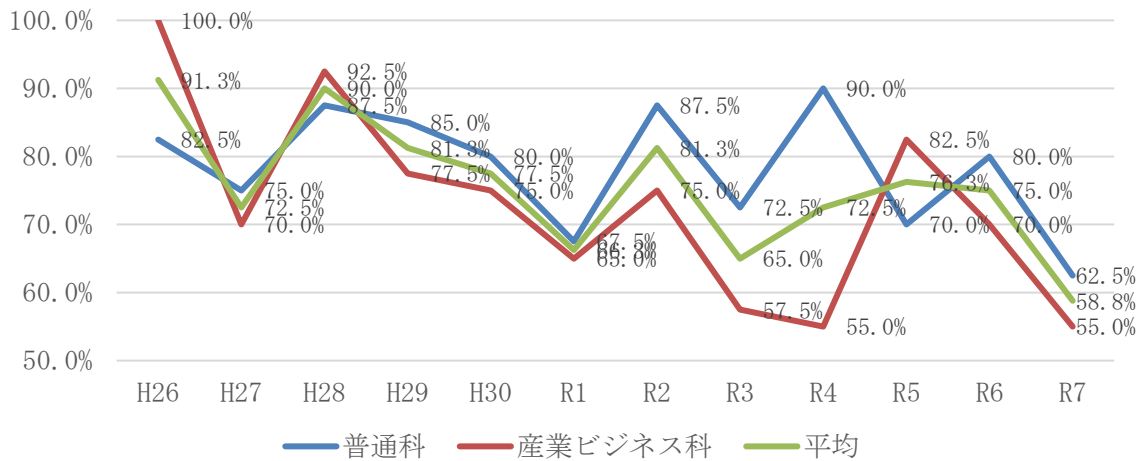
あなたは油木高校に進学して、どうでしたか。【産業ビジネス科3年生】



＜油木高校の入学年度別、入学率等の推移＞



入学率 (入学者数 ÷ 定員) × 100



地元率 (町内入学者 ÷ 町内中学校卒業者数) × 100

